

食品安全情報（化学物質） No. 20/ 2021（2021. 09. 29）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部
(<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

<注目記事>

【BfR】 食品添加物と香料の検出性の向上

ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）は、食品添加物や香料の分析法を開発し標準化を行うためのリファレンスラボを新設した。このようなリファレンスラボを設立したのは EU ではドイツが最初である。EU では約 320 種類の食品添加物と約 2500 種類の香料の使用が許可されているが、これまで比較的少数の食品添加物や香料に対してしか標準化された分析法は開発されていない。そのためドイツや EU 全体では、食品添加物や香料の使用に関する体系的モニタリングの範囲が限定的であった。新しいリファレンスラボでは、複数の添加物を同時に定量できるマルチ分析法の確立を目指し、まずはリスクベースで許容一日摂取量（ADI）が設定されている添加物を対象に考えている。

*ポイント： 残留農薬検査ではマルチ分析法の導入が進められていますが、食品添加物の場合個別分析法が利用されるのが一般的です。そのため、BfR が広く使用できるような添加物のマルチ分析法を確立したら画期的なことだと思います。

【FDA/CDC】 デルタ-8 テトラヒドロカンナビノールを含む製品について

デルタ-8 テトラヒドロカンナビノール（デルタ-8 THC）は、*Cannabis sativa*（大麻草/アサ）に含まれる精神活性物質である。*C. sativa* は、マリファナとヘンプに大別される。デルタ-8 THC は大麻植物に天然に含まれる 100 種類以上のカンナビノイドの 1 つであるが、ごく微量しか含まれない。そのため高濃度のデルタ-8 THC は、ヘンプ由来のカンナビジオール（CBD）から化学合成で製造するのが一般的である。米国食品医薬品局（FDA）には、2020 年 12 月から 2021 年 7 月にかけて、デルタ-8 THC 含有製品に関する 22 の有害事象の報告が届いており、うち 19 人がデルタ-8 THC を含む食品（ブラウニー、グミなど）を摂取したことによる。さらに、全国中毒管理センターでは 2018 年 1 月から 2021 年 7 月 31 日の間にデルタ-8 THC 製品関連の報告を 661 件受信している。デルタ-8 THC 製品は FDA による安全性評価や認可を受けておらず、公衆衛生を危険にさらすような方法で販売されている可能性があるとして注意を喚起している。

*ポイント： *C. sativa* に含まれる THC と言うとデルタ-9THC が代表的で取り締まりの対象になっていますが、その一方で最近の米国では、デルタ-8 THC 製品による有害事象の報告が急増しています。特に、製品の包装や表示が菓子類に似せてあるため子供が興味を持ちやすく、また成分表示されていない場合もあり、意図しない事故につながっているようです。

【FDA】 FSMA の農産物安全規則が韓国語と日本語で利用できる

米国 FDA の食品安全近代化法（FSMA）のもと策定された農産物安全規則（Produce Safety Rule）の韓国語訳と日本語訳を公表した。当該規則は、ヒトが消費するために栽培される果実や野菜の安全な栽培、収穫、包装、保管のための科学的根拠に基づく最低基準を初めて制定したものである。最終規則は、2016 年 1 月 26 日に施行されている。

目次（各機関名のリンク先は本文中の当該記事です）

[【WHO】](#)

1. 国際がん研究機関（IARC）

[【FAO】](#)

1. フードシステムサミット「ニューヨークからローマに戻る」、FAO は結果の履行を主導する
2. Codex

[【EC】](#)

1. 2020 年次食品偽装報告書：欧州の食品偽装との戦いは COVID-19 パンデミックの中でも続く
2. 食料不足と食品廃棄を減らすー欧州フードバンク連盟
3. 砂糖、塩、脂肪、繊維：包装済み食品とソフトドリンクはより健康的になったか？
4. 査察報告書
5. 食品及び飼料に関する緊急警告システム（RASFF）

[【EFSA】](#)

1. EFSA の専門家会議のニュース速報：FCM、酵素及び加工助剤に関する科学的パネル
2. EFSA ニュースルーム（新規食品に関する動画紹介）
3. 公開会議ー食用糖類の耐容上限摂取量に関する科学的意見案
4. グリホサート：EFSA と ECHA が意見募集を開始
5. 農薬関連

[【FSA】](#)

1. FSA 理事会 2021 年 9 月

[【FSS】](#)

1. FSS 理事会 - 9 月 15 日
2. スコットランドの外食産業分野における Covid-19 の影響について
3. 学生向け：清潔なキッチンでスマートに安全に

[【BfR】](#)

1. 食品中 PFAS : BfR は工業用化合物への重要な暴露を確認
2. ゴマに残留するエチレンオキシドの健康リスク評価
3. 食品添加物と香料の検出性の向上

[【ANSES】](#)

1. キノコ狩りの季節が今年は早い：中毒リスクを避けるように

[【FSAI】](#)

1. 食肉及び鶏肉のハラール表示の監査
2. 未殺菌の植物性発酵食品に関する食品安全ガイダンスを発行
3. リコール情報

[【FDA】](#)

1. FDA、FTC は糖尿病を治療すると表示するダイエタリーサプリメントを違法に販売した 10 社に警告する
2. FDA は「低コストまたはコストのかからない食品トレーサビリティチャレンジ」の受賞者を決定する：ソリューションを紹介するウェビナーを企画する
3. FSMA の農産物安全規則が韓国語と日本語で利用できる
4. FDA はデジタルトランスフォーメーションの新たな部署を設立し、データと IT の近代化の取り組みを進める
5. デルタ-8 テトラヒドロカンナビノールについて知っておくべき 5 つのこと
6. 警告文書
7. リコール情報

[【CDC】](#)

1. デルタ-8 THC を含む大麻製品の入手可能性と報告される有害事象の増加

【USDA】

1. 培養肉に関する請願への回答
2. キット製品表示ガイドライン
3. USDA は遺伝子組換えを用いて開発したトウモロコシを規制解除する
4. 遺伝子組換えを用いて開発したリンゴの規制解除拡大

【FTC】

1. FTC は科学的根拠のない糖尿病治療法の表示を行った疑いのある 10 社に停止要求書を送付

【FSANZ】

1. 食品基準通知

【NSW】

1. リコール情報

【香港政府ニュース】

1. マカオ当局の報告 - カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) によるワシントン州保健省からの米国内での高レベルの麻痺性貝毒 (PSP) のため特定の貝類のリコールに関する通知
2. ニュースレター：食品中の部分水素添加油 (PHO) の禁止
3. 違反情報

【MFDS】

1. 日本産輸入食品の放射能検査の結果
2. 食品由来の抗菌剤耐性低減化のための国際協力強化
3. ケトジェニックダイエット、正確に知って購入してください！

【HSA】

1. 食品（改正）規則 2021

【FSSAI】

1. FSSAI はジャンクフードを規制するために「包装表面表示」を導入する計画
2. 統一保健大臣 Shri Mansukh Mandaviya が第 3 回州食品安全指数を発表
3. 異なる食品カテゴリー中のトランス脂肪についての全インド調査の結果について

【その他】

- ・ ProMED-mail 2 件
- ・ Eurekalert 3 件

-
- 世界保健機関（WHO : World Health Organization） <http://www.who.int/en/>

1. 国際がん研究機関（IARC）

- 動画：世界がん報告最新情報学習プラットフォーム：あなたにどんな利点がある？

Video: The World Cancer Report Updates learning platform: what's in it for you?

13 September 2021

<https://iarc.who.int/news-events/video-the-world-cancer-report-updates-learning-platform-whats-in-it-for-you/>

世界がん報告最新情報学習プラットフォームは、欧州臨床腫瘍学会（ESMO）の支援と協力のもと、2020年に開始された。このプラットフォームでは、2020年版「世界がん報告」から選ばれた内容や、がん予防のためのがん研究の最新動向に関連する学習リソースや機会を提供している。動画あり。

* The World Cancer Report Updates

<https://learning.iarc.fr/wcr/>

- 第6回世界がん研究デー：がんへの戦いの進歩をともに導く

Sixth edition of World Cancer Research Day: Driving progress against cancer, together

24 September 2021

https://iarc.who.int/wp-content/uploads/2021/09/pr302_E.pdf

IARCは国際的ながん研究コミュニティと共に、9月24日の第6回世界がん研究デーを祝う。世界がん研究デーは、生存率の向上、世界中の科学的進歩へのアクセスの促進、がんの世界的負荷の軽減のために、がん研究の重要性に対する認識を高めることを目的とした世界的な運動である。今年は、腫瘍学とがん研究の分野における国際的な専門家が、研究によってがん患者の生存率と生活の質がどのように向上するかに焦点を当てる。

* 世界がん研究デー

World Cancer Research Day (WRCd)

<https://www.worldcancerresearchday.com/>

-
- 国連食糧農業機関（FAO : Food and Agriculture Organization of the United Nations）

<http://www.fao.org/>

1. フードシステムサミット「ニューヨークからローマに戻る」、FAOは結果の履行を主導する

Food Systems Summit - "From New York back to Rome," FAO takes on lead role in

implementing outcomes

23 September 2021

<http://www.fao.org/news/story/en/item/1440888/icode/>

国連食糧農業機関（FAO）は本日、世界の農業・食料システムをより効率的で包括的、かつ弾力的で持続可能なものにするための野心的で緊急性の高い取り組みを成功させるために、指導的役割を果たすことを約束した。

FAO の QU Dongyu 事務局長は、国連フードシステムサミットの閉会式「2030 年に向けたビジョンとモメンタムの推進」で、閉会宣言を行った。この画期的なイベントでは、貧困や飢餓と闘い、不平等を是正し、環境を保全するために、農業・食料システムの変革に向けた包括的なアプローチが初めて採択された。QU 氏はサミットを締めくくるキャッチフレーズ「ニューヨークからローマへ」に触れ、FAO はローマの姉妹機関や国連システム、生産者グループ、先住民、市民社会、学界など、フードシステムサミットのプロセスに関わってきた多くのパートナーと緊密に協力し、農業・食料システムのすべての関係者の利益のために、話し合われた構想が実行されるよう努力すると述べた。

*追加情報

- フードシステムサミット

THE FOOD SYSTEMS SUMMIT

23 SEPTEMBER 2021 | NEW YORK

<https://www.un.org/en/food-systems-summit>

- フードシステムには「より良い世界のビジョンを実現する」力がある、国連事務総長が
第一回フードシステムサミットで述べる

Food systems hold power to ‘realise vision of a better world’, says UN Secretary-General at first Food Systems Summit

September 23, 2021

<https://www.un.org/en/food-systems-summit/news/food-systems-hold-power-%E2%80%99realise-vision-better-world%E2%80%99-says-un-secretary-general>

ニューヨークでの国連総会中に配布された行動声明の議長要約で、António Guterres 国連事務総長は各国政府やパートナーに 2030 年までの SDG 達成を呼びかけた。議長総括行動宣言では、国や地域レベルで 5 つの主要分野が進展すれば、SDGs の達成に向けた世界的な変化となり、すべての人に基本的人権が確保されることになる」と述べている。

5 つの重要分野とは、(1) すべての人々に栄養を、(2) 自然に基づく解決策の後押し、(3) 平等な生活、適正な仕事、権限を与えられたコミュニティの促進、(4) 脆弱性、ショック、ストレスに対する回復力の構築、(5) 実施手段の支援。

- 国連フードサミット 2021 は地球、人々、そして繁栄のために開催される

United Nations Food Systems Summit 2021 opens for planet, people and prosperity

23/09/2021

<http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news->

[details/en/c/1440879/](https://www.fao.org/news-room/details/en/c/1440879/)

2021年9月23日に開催された国連フードシステムサミット（UNFSS）の開会式において、António Guterres 国連事務総長は、「フードシステムの変革は、地球のため、人々のため、繁栄のために、可能であるだけでなく、必要なことである」と述べ、世界が食料を生産し、消費し、食料について考える方法を変えるために、誰もが行動を起こす必要性を強調した。UNFSSに先駆けて7月にローマで開催されたプレサミットでコーデックスを代表したコーデックス委員会副委員長の Steve Wearne 氏（英国）は、フードシステムにおける食の安全の重要性について言及し、Guterres 事務総長及び Mario Draghi イタリア首相は共に、世界の飢餓との闘いに必要な具体的な行動を協力して行う上で、FAOを含むローマに拠点を置く国連機関が果たすべき重要な役割を強調した。

2. Codex

- 第52回コーデックス食品添加物部会（CCFA52） / 部会は500以上の食品添加物条項について総会に採択を諮る

CCFA52 / Committee sends over 500 food additive provisions for adoption

13/09/2021

<http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1438869/>

コーデックス食品添加物部会（CCFA）は、2021年11月の総会に採択を諮る、すでにコーデックスのステップ手続きに上がっている500以上の食品添加物条項と、新たな90の条項案を含む勧告について、合意が得られたことを確認した最終報告書を採択した。

中国がホストを務めた部会は2021年9月1日から10日にかけてバーチャルで開催され、COVID-19 パンデミックによる困難があっても、規格についての議論と合意のための作業を中断しないという約束を守った。

CCFA 議長の Yongxiang Fan 氏は、「この困難な議題を完遂させたことは並外れた功績である」と述べ、個々の作業の流れを率いた専門家と精力的に時間と支援を提供してくれた代表団、メンバー、オブザーバーに対し感謝を示した。

* CCFA52

<http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/meetings/detail/en/?meeting=CCFA&session=52>

- 第35回コーデックス魚類・水産製品部会（CCFFP35） / 水産部会が規格への新しいイワシ種の追加について議論する

CCFFP35 / Fish Committee to discuss adding new sardine species to standard

20/09/2021

<http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1440023/>

第 35 回コーデックス魚類・水産製品部会が 2021 年 9 月 20 日から、「イワシ及びイワシ類缶詰製品規格 (CXS 94-1981)」への *Sardinella lemuru* (Bali Sardinella) の追加を議論するために、初めてコーデックスオンラインプラットフォーム上で開催される。ホスト国ノルウェーの議長 Vigdis Veum Møllersen 氏が、部会の開催方法について次のように話した。

今次会合は非常に興味深い状況におかれており、コーデックス一般原則部会が策定し 11 月の総会に採択が諮られている新しい手続き案に則って電子媒体上で開催される初めての部会となる。決められた時間内、水産部会の場合は各議題につき 24 時間を議論に費やし、その後に議長が同日の 14 時までに結論を出すことを目標にしている。この結論についても意見を募るために公開する予定である。2021 年 9 月 25 日にレポート採択の予定であるが、特定の技術的課題に関する電子作業部会の設置が予測されるため、今後も部会が開催されることになるだろう。

●欧州委員会 (EC : Food Safety: from the Farm to the Fork)

https://ec.europa.eu/food/safety_en

1. 2020 年次食品偽装報告書：欧州の食品偽装との戦いは COVID-19 パンデミックの中でも続く

2020 Annual Food Fraud report: Fight against food fraud in Europe continued despite the COVID-19 pandemic

<https://ec.europa.eu/newsroom/sante/items/719585/en>

本日、欧州委員会 (EC) は、EU 農業・食品偽装ネットワーク (EU FFN) と行政支援・協力システム-食品偽装 (AAC-FF) の 2020 年の年次報告書を発表する。この報告書では、EU FFN の活動を紹介し、特定の協力要請を強調するとともに、EC が管理する AAC-FF-EU 報告ツールの統計情報を提供している。このツールにより、ネットワークのメンバーは、疑わしい違反行為や、EU の農業・フードチェーン法に対する意図的な違反行為の可能性に関する情報を交換することができる。

報告書で示された数字から、システムの利用が着実に増えていることがわかる。年間で計上された件数は、2016 年には 157 件だったが 2020 年には 349 件となり、5 年間で 2 倍以上に増加した。EU FFN における加盟国間の交流の活発化は、欧州における食品偽装への対策が強化されていることを示している。国境を越えた不正行為の疑いに関する情報を共有することは、違法行為をより多く特定し、調査し、EU の消費者を保護するために不可欠であることが証明された。

トレーサビリティと警告に関する EU の総合データにアクセスすることで、EC はネットワークのメンバーに情報やデータ分析を提供し、国境を越えた不正の疑いのあるケースを追跡する活動を調整しているほか、不正の可能性が輸入品に関連している場合には、非

EU 国の管轄当局に調査を依頼している。報告書では、EU で協調して対処したケースの例として、生きた二枚貝の違法取引について説明している。過去 3 年間に iRASFF での通知が増加したことを受け、ネットワークはこの問題について継続的に調べた。その結果、この問題は 2018 年にスペインで、認可されていない地域で採捕された疑いのある、汚染されたアサリを摂取したことによる食品由来アウトブレイクが発端だった。問題の事業者は他の EU 諸国でも同様の手段で再犯を繰り返しており、広範な問題であることが判明した。

また、EU FFFN は、欧州反偽装局 (OLAF) と協力して、偽装食品を対象とした活動を共同で行っている。2020 年には、偽物や規格外の食品・飲料の取引を対象としたユーロポールとインターポールの共同イニシアチブである OPSON や、保護種であるヨーロッパウナギ (*Anguilla Anguilla*) の取引に焦点を当てた LAKE 作戦にも、同ネットワークのメンバーが参加した。

- 2020 Annual Report : The EU Agri-Food Fraud Network and the Administrative Assistance and Cooperation System

https://ec.europa.eu/food/system/files/2021-09/ffn_annual-report_2020_1.pdf

(内容を一部紹介)

- ネットワーク内協力での成功事例：水牛モッツァレラと表示された製品における乳の種に関する偽装

スペインのある会社が、100%水牛と宣伝したモッツァレラチーズを製造しており、さらにこの製品を牛乳に不耐症の消費者向けの代替品と称していた。イタリア当局に通報があり、この件は AAC-FF システムを通じてスペイン当局に警告された。イタリア当局の依頼によりスペインでこのチーズの分析が行われ、使用されている乳のうち、最大で 22%が牛の乳に由来するものであることが判明した。このため、スペイン当局は、食品詐欺、公衆衛生に対する罪、誤解を招くような広告を行った疑いで、この生産者に対して法的手続きを取ることを決定した。

- EU 協調行動：生鮮二枚貝の違法取引における EU 協調行動の成功例

- 犬猫の移動におけるコンプライアンス違反

2020 年の協力要請のうち、約 10%が商用・非商用を問わず、犬猫の移動に関するコンプライアンス違反であった。最も頻繁な不正行為は、偽造文書 (動物のパスポート) と偽造証明書 (健康、ワクチン接種、狂犬病抗体の滴定) に関するものであった。犬猫に関する通知が増加した背景には、パンデミックとそれに伴うロックダウンによるペット需要の増加があげられる。需要の増加により子犬や子猫の価格は上昇し、密輸などの不正な供給行為のリスクが高まっている。EU 農業・食品偽装ネットワークは、このテーマに関する認識を高めるとともに、加盟国間のコミュニケーションや交流を促進するために努力している。

- オンラインでの COVID-19 関連食品の提供と広告に対する行動計画

コロナウイルスパンデミックにより、2020 年はウイルスの予防や治療を謳った食品

やサプリメントのオンライン提供が増加した。欧州委員会は、コロナウイルス関連製品の主要な市場を特定し、eプラットフォームによる迅速な情報交換とフォローアップ行動のため、加盟国にこれらの市場との専用の連絡手段を提供して誤解を招く又は虚偽の広告の排除に乗り出した。この活動には19カ国が参加し、COVID-19の予防、治療、治癒をうたった食品が646件報告され、そのうち88件は国境を越えており、AACやiRASFFを通じて通知された。さらにこのうち3件は、ヒトの健康へのリスクが確認された。現在までに、178件の提供が削除され、16件の差し止め命令と87件の行政罰金が発令され、225件の不正な健康強調表示が削除又は変更された。

2. 食料不足と食品廃棄を減らすー欧州フードバンク連盟

Reducing food insecurity and food waste – the European Food Banks Federation

<https://ec.europa.eu/newsroom/sante/items/719584/en>

食品ロスと廃棄啓発のための国際デーに先立ち、欧州フードバンク連盟（FEBA）議長である Jacques Vandenschrik 氏はパンデミック中の連盟の仕事や増大する需要について話した。FEBAは食料不足の軽減を目指すとともに、農場から食卓まで戦略、欧州グリーンディール、国連の持続可能な開発目標と連携する欧州委員会と共に食品ロスの削減にも取り組んでいる。

FEBA とは

1986年に設立され、ブリュッセルを拠点とした欧州フードバンク連盟は、欧州29カ国の335のフードバンクによるネットワークを通して、食品ロスの防止と食料不足の低減を目的とする非営利団体である。

FEBA の活動

2020年には、FEBAは仕事の多くをパンデミックの影響に当てた。日常の活動を確保するために3月にCOVID-19社会緊急基金を開始し、課題、緊急の必要性、変化への適応、具体的な対応を強調する4つの報告書を発表した。FEBAは食品事業者から余剰食料を手し、2019年と比較して34.7%増加した援助が必要な人々を支援する慈善団体に安全に届けるため、精力的に活動した。また、活動をデジタル化し、日常業務に集中する一方で、欧州や国際レベルでの継続的な進行中の議論や政策決定プロセスに貢献した。

環境への貢献

EUで生産される食品のおよそ20%が廃棄され無駄になる一方で、約3300万人が2日に一度は十分な食事を取ることができない。フードバンクは日々の活動を通して、廃棄される食品と食料不足のパラドックスについての認識を高め、消費者を感化し、余剰食料を寄付する食品事業者の効率を向上させている。FEBAはフードシステムの循環性に寄与している。これは単に社会的に責任ある代用手段というだけでなく、企業に優しく環境に優しい選択肢でもある。

欧州委員会との協力

FEBAの2つの使命である食品ロス防止と食料不足削減は、政策や法律と密接に影響さ

れる。これらの政策や法律は、欧州レベルでは重要な役割を果たし、国と地方レベルでは牽引力として機能している。食品廃棄を防止し食品寄付を促進するために、FEBA は欧州グリーンディールや農場から食卓まで戦略、また FEBA が中心的役割を果たす食品ロスと廃棄に関する EU プラットフォームの活動など、欧州政策を取り扱っている。FEAD、REACT-EU 戦略、ESF+など、貧困のリスクのある人々を減らすための農業関連政策にも関心を寄せている。

今後の見通し

COVID-19 は脅威でもあり、同時に多くのチャンスの扉を開く変化への積極的な促進剤でもある。このパンデミックはデジタル化の必要性を強制的に高めるため、FEBA はネットワークを活用してデータ収集やデジタル化作業を継続する。FEBA は今後も EU 及び国際レベルで進行中の議論に貢献し、その後の活動に参加していきたいと考えている。COVID 19 の危機は、食料援助が結束を高めるための貴重な手段であることを再度示した。食料援助は、社会的包摂や、より大きく人間性を育てる機会である。FEBA は将来について楽観も悲観もしていない。大陸での団結が私達の強さだと信じ、新たなエネルギーでよりよい欧州の構築に寄与している。

3. 砂糖、塩、脂肪、繊維：包装済み食品とソフトドリンクはより健康的になったか？

Sugars, salt, fat, fibre: are packaged foods and soft drinks becoming healthier?

Aug 04 2021

<https://ec.europa.eu/jrc/en/news/sugars-salt-fat-fibre-are-packaged-foods-and-soft-drinks-becoming-healthier>

最新の JRC 研究で、欧州のスーパーマーケットで販売されている製品の砂糖、塩、飽和脂肪酸、食物繊維の量を評価し、包装済み食品とノンアルコール飲料の栄養価の傾向を分析した。分析結果から、欧州では公衆衛生の支持者が望む方向にわずかだが進歩していることが示された。包装済み製品で販売された塩、砂糖、飽和脂肪酸は、全体として少し削減しているが、砂糖と塩の量にはまだ懸念がある。残念ながら、包装済み食品の食物繊維含有量には増加の兆しはなかった。概して、公衆衛生の目標を達成するにはさらなる努力が必要である。

この研究では製品や消費者の好みをどのようにモニターしたのか

2015–2018 年に欧州 22 ヶ国で販売されている包装済み食品やソフトドリンク 23,000 製品/ブランドの栄養価を評価した。これは今回検査対象とした 4 つの栄養素に関する市場の平均 72%を網羅している。

この研究では、市民に販売された食品の栄養成分と市場規模を追跡した。評価したのは：

- ・ 2018 年と 2015 年との対比で、14 種類の包装済み食品と飲料を通して販売された砂糖、脂肪、塩、食物繊維の量
- ・ 製品の市場規模も考慮し、食品と飲料でこれらの栄養素の含有量はどのくらい変化したか

- ・ 生産者の販売活動と消費者の好みの両方を反映した、製品の栄養含有量の傾向と市場売上高の組み合わせの評価

どの種類が改善され、どれにまだ改善の余地があるのか

塩、砂糖、飽和脂肪酸を削減し、食物繊維摂取量を増加するという公衆衛生栄養目標はまだ達成されていない。例えば、欧州の1人あたりの1日の販売量の変化によると、栄養含有量の改善を示した種類は少ない。

改善されたのは、砂糖では朝食用シリアルとソフトドリンク、飽和脂肪酸では加工肉・シーフード、甘いビスケット、焼き菓子であり、塩では加工肉・シーフードと加工果実・野菜、食物繊維ではスナック菓子、朝食用シリアル、甘いビスケットだった。

国によっても大きな違いがある。例えば、ソフトドリンクの1人あたりの砂糖の売上高は、分析した国の4分の3では、ある程度減少した。他方、加工肉・シーフードの塩の1人あたりの販売量の削減はたったの4カ国のみであった。進展が見られたにもかかわらず、包装済み食品とソフトドリンクを通して欧州市民に販売された栄養素の全体量は、まだ2015年と同等レベルであり、特に砂糖と塩には懸念がある。

さらに、目標と比較すると推定される変化は小さい。砂糖の加重平均（進歩を評価するために規制者が用いる主な測定基準）の推定値は2015年～2018年間で3.3%減であり、これは5年間(2015-2020年)の一般的なベンチマークである添加糖類10%減には遠く及ばない。飽和脂肪酸と塩の加重販売量の推定値もそれぞれ4.4%及び2.1%減となり、以前の構想で設定した4年間の削減目標、5%及び16%と比べて少なかった(塩では2008年、飽和脂肪酸では2012年を基準年とする)。さらに懸念されるのは、全ての製品グループで販売される食物繊維の量が2015年～2018年で2.1%も減少していることである。

公衆衛生目標に対する進歩には、政策決定者、企業、消費者の関心が必要である。EUレベルの「農場から食卓まで戦略」では、統一規格包装前面栄養表示制度と、脂肪、砂糖、塩の多い食品の宣伝(栄養や健康強調表示を通して)を制限するために、栄養プロファイルを設定するという委員会提案を発表した。2022年末までに期待されるこれらの取り組みは、消費者が健康的な選択を行えるようにし、製品の栄養プロファイルを改善するために企業にやる気を起こさせることを目的としている。

*論文 (オープンアクセス)

Sugars, Salt, Saturated Fat and Fibre Purchased through Packaged Food and Soft Drinks in Europe 2015–2018: Are We Making Progress?

Maria Alice Moz-Christofoletti and Jan Wollgast

Nutrients 2021, 13(7), 2416; <https://doi.org/10.3390/nu13072416>

<https://www.mdpi.com/2072-6643/13/7/2416/htm>

4. 査察報告書

- トルコ—動物用医薬品の管理を含む生きた動物と動物製品の残留物と汚染物質
Turkey 2020-6997—Residues and contaminants in live animals and animal products

including controls on veterinary medicinal products

09/09/2021

https://ec.europa.eu/food/audits-analysis/audit_reports/details.cfm?rep_id=4407

2020年10月19日～12月18日にトルコで実施した、EU輸出用の生きた動物と動物製品の残留物と汚染物質の公的管理の効果を評価するためのリモート査察。サンプリングの計画、実施、違反結果のフォローアップは例外を除いてEU要件に従っており、動物用医薬品の使用に関する包括的な管理システムと提携し、システム全体が一般的に目的に合っている。だが、サンプル数が計画より少ないなどいくつかの欠点により、残留物管理システムの効果は低下している。ハチミツ中の高濃度の鉛については、国内の最大基準値が設定されていないためEUに通知されなかった。査察中にすでにいくつかの是正措置が取られた。

- **ウクライナー乳と乳製品**

Ukraine 2021-7185 – Milk and dairy products

13/09/2021

https://ec.europa.eu/food/audits-analysis/audit_reports/details.cfm?rep_id=4410

2021年3月1～12日にウクライナで実施した、EUに輸出するヒト摂取用の乳と乳製品の公的管理システムを評価するための査察。COVID-19 パンデミックのため現場検証はなく、文書と管理記録のレビューに基づく。EU輸出用の乳と乳製品の生産の公的管理システムは、輸出製品のEU衛生要件に準拠しているかに関してほとんどの保証を提供している。前回の査察の助言への是正措置は効果的だった。だが、国の法律や文書化の手続きには更新の必要がある。施設の認可やリストからの削除、製品の認証はこの手続きに完全に実行されていない。生乳以外の加工用原料の適正証明がないことから認証の信頼性は影響を受けるが、これらの欠点は管理自体の信頼性に全体的な悪影響を与えていない。

- **デンマークー乳と乳製品**

Denmark 2021-7181 – Milk and dairy products

14/09/2021

https://ec.europa.eu/food/audits-analysis/audit_reports/details.cfm?rep_id=4411

2021年5月3日～6月11日までデンマークで実施した、乳と乳製品の安全性に関する公的管理システムを評価するための査察の結果。COVID-19により現場での検証や評価はなく、文書や管理記録のレビューに基づく。公的管理機関は明確に指定され、様々なレベル間の効果的なコミュニケーションフローや協力ツールがある。乳製品事業者の登録/承認手続きは適切に実行されているが、認可施設の承認プロセスや承認レビューには矛盾がある。乳製品企業は定期的に効果的な公的管理を受けており、生乳の管理は一般的に満足できる状況である。しかし、2～3の違反事例が一貫してフォローアップを受けており、生乳の基準が適切に施行されていることを保証していない。また、食品事業者が牛以外の動物種の生乳基準を遵守しているのかを検証するチェック体制が公的管理システムに導入されていない

い。

● 南アフリカー水産物

South Africa 2021-7172 – Fishery products

09/09/2021

https://ec.europa.eu/food/audits-analysis/audit_reports/details.cfm?rep_id=4409

2021年4月19～30日の南アフリカの査察結果。査察の目的は、管轄機関の公的管理が、EU輸出用の南アフリカの水産物生産状況がEU法の要件に準拠していることを保証できるかどうか評価することである。COVID-19により現場検証はなく、文書と記録のレビューに基づく。管轄機関が開発した公的管理システムは全生産チェーンをカバーし、採用された法律により関連するEU要件を検証でき、適切な手順に支えられている。COVID-19の影響は、国際貿易と食品サプライチェーンの支援を目的とした緊急時対応の活性化によって軽減されている。

5. 食品及び飼料に関する緊急警告システム (RASFF)

Rapid Alert System for Food and Feed (RASFF) Portal - online searchable database

http://ec.europa.eu/food/food/rapidalert/rasff_portal_database_en.htm

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/portal/>

12/09/2021～25/09/2021の主な通知内容（ポータルデータベースから抽出）

*基本的に数値の記載がある事例は基準値超過（例外あり）

*RASFFへ報告されている事例のうち残留農薬、食品添加物、食品容器、新規食品、カビ毒を含む天然汚染物質の基準違反等について抜粋

警報通知 (Alert Notifications)

産出国不明ハーブとスパイス(フェネルシードとアニス)のクロルピリホス及びクロルピリホス-メチル、韓国産インスタント麺のソース成分の2-クロロエタノール、オランダ産フードサプリメントの2-クロロエタノール、ドイツ産オールスパイスの高濃度のクロルピリホス、フードサプリメントの製造に使用される中国産原料オレンジ抽出物の未承認物質エチレンオキシド、イタリア産小さいオウム用完全飼料にブタクサの種子高含有、中国産オランダ経由梨の未承認残留農薬クロルピリホス、ドイツ産フルーツデザート(デザート)の未承認物質エチレンオキシド、オランダ産新規食品CBDフードサプリメントのテトラヒドロカンナビノール(THC)の危険量、スウェーデン産フードサプリメントのエチレンオキシド、スペイン産パプリカ粉末のオクラトキシン A、トルコ産ローカストビーンガムの未承認物質エチレンオキシド、中国産乾燥海藻のヨウ素高含有、産出国不明新規食品CBDフードサプリメントのTHCの危険量、ベルギー産ブロッコリーのジメトエートおよびオメトエート、ドイツ

産ベーキングミックスに使用されるナイジェリア産ゴマ種子の 2-クロロエタノール、米国産フードサプリメントの水銀、チェコ共和国産ヒラタケ入りオオアザミのお粥の鉛高含有、ドイツ産オオバコの殻の未承認物質 2-クロロエタノール、オランダ産有機ピーナッツバターのアフラトキシン、など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

スペイン産コメのヒ素(無機)、インド産ドラムスティック(モリンガ)のモノクロトホス、イタリア産ボラの高濃度の鉛、トルコ産冷凍殻剥きピンクエビの亜硫酸塩非表示、中国産乾燥ポルチーニ茸のテトラメトリン、ベルギー産鶏用補完飼料のサリノマイシン、韓国産冷凍メカジキロインの水銀、スリランカ産メカジキの水銀、韓国産冷凍メカジキの水銀、トルコ産レモンのクロルピリホス-メチル、スペイン産解凍マグロロインのアスコルビン酸 E300 高含有、トルコ産レモンのクロルピリホス及びプロクロラズ、フランス産チルドビーフのオキシテトラサイクリン、エクアドル産バナナのクロルピリホス、スペイン産解凍マグロの水銀、ドイツ産有機リンゴジュースのバツリン、インド産皮剥きゴマ種子の 2-クロロエタノール、など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

トルコ産生鮮ペッパーのアセタミプリド、ジョージア産殻付き及び殻なしヘーゼルナッツのアフラトキシン (注：同様の通知が複数あり)、アルバニア産チェリートマトのブプロフェジン、中国産ステビアの葉粉末のエチレンオキシド、インド産ガルシニアカンボジア抽出物のエチレンオキシド、トルコ産アプリコットカーネルのシアン化物高含有、トルコ産生鮮ペッパーのホルメタネート、中国産台所用品の一級芳香族アミンの溶出、タイ産ペッパーのシペルメトリン、米国産粉末ピーナッツバターのアフラトキシン、インド産カレー粉のエチレンオキシド、スリランカ産チルドメカジキロインの水銀、トルコ産ピスタチオのアフラトキシン、トルコ産ピスタチオ穀粒のアフラトキシン、エジプト産オレンジの未承認物質クロルピリホス、エジプト産オレンジの未承認物質クロルピリホス、イラン産ピスタチオ穀粒のアフラトキシン、ジトルコ産生鮮ザクロのクロルピリホス・アセタミプリド・プロピコナゾール、など。

● 欧州食品安全機関 (EFSA : European Food Safety Authority)

<http://www.efsa.europa.eu/>

1. EFSA の専門家会議のニュース速報 : FCM、酵素及び加工助剤に関する科学的パネル (CEP)

Breaking news from EFSA's expert meetings: Scientific Panel on FCM, Enzymes and Processing Aids(CEP)

16/09/2021

<https://www.youtube.com/watch?v=B9S22F1YboU>

食品接触物質（FCM）、酵素及び加工助剤に関するパネル（CEP）の最新の公開会議での決定事項や議論について聞くことが出来る YouTube 動画。

2. EFSA ニュースルーム

Newsroom

<https://www.efsa.europa.eu/en/news>

2020年12月、EFSAの新規食品担当者は、EFSAにおける新規食品評価の動向に注目した一連の発表を行った。最初のビデオではトピックの概要を説明し、続いて代替タンパク質、新規炭水化物、フードサプリメントに関する3つのビデオを紹介している。

- 新規食品：フードサプリメント

Novel food: food supplements

20/09/2021

<https://www.youtube.com/watch?v=245T6woaXLk>

- 新規食品：概要とEFSAの役割

Novel foods: overview and EFSA's role

20/09/2021

<https://www.youtube.com/watch?v=U2xRtbI9GHA>

- 新規食品：代替タンパク質とその供給源

Novel foods: alternative proteins and their sources

20/09/2021

<https://www.youtube.com/watch?v=FQO0gi9aM6s>

- 新規食品：新規炭水化物

Novel food: novel carbohydrates

20/09/2021

<https://www.youtube.com/watch?v=z2FW79S3eo4>

3. 公開会議—食用糖類の耐容上限摂取量に関する科学的意見案

Public meeting - draft scientific opinion on tolerable upper intake level for dietary sugars

2021/09/24

<https://www.youtube.com/watch?v=EOqIV8V5PBE>

食用糖類の耐容上限摂取量に関する科学的意見案に関する、関係者とのオンライン会議の YouTube 動画。2021年9月21日に開催された。文書案の意見募集は継続中で、最終意見は2022年の第1四半期に発表する予定である。会議は、評価の科学的根拠を説明し、会議前及び会議中に利害関係者から寄せられた質問に答えた。

4. グリホサート：EFSA と ECHA が意見募集を開始

Glyphosate: EFSA and ECHA launch consultations

23 September 2021

<https://www.efsa.europa.eu/en/news/glyphosate-efsa-and-echa-launch-consultations>

EFSA と欧州化学品庁(ECHA)はグリホサートの最初の科学的評価に関する並行意見募集を開始した。この意見募集は 60 日間行われ、全ての利害関係者の貢献が推奨されている。この並行して行われる意見募集で、EFSA はグリホサートの更新評価報告書に関するフィードバックを集める。ECHA の募集は統一分類及び表示報告書に関するものである。本日意見募集のために出された最初の科学的評価はどちらも、フランス、ハンガリー、オランダ及びスウェーデンの国家管轄機関で構成される、グリホサートに関する評価グループ(AGG)が作成した。

EFSA と ECHA は透明性を高め、市民と利害関係者を両機関の仕事にできるだけ近づけようと努力している。全ての利害関係者は関連するコメントや科学的情報及びデータを提出することで意見募集に貢献するよう奨励されている。意見募集は 60 日間ずっと開かれ、この 2 機関のウェブサイト閉鎖後に全てのコメントが発表される。

意見募集後、各機関はそれぞれの評価プロセスに関連するコメントを照合する。統一分類の評価プロセスでは、AGG と ECHA のリスク評価委員会(RAC)が提出されたコメントとデータを検討する。これらの検討事項は、RAC が分類・表示・包装(CLP)規則に基づくグリホサートの分類に関する意見を作成する際に、次の段階に進む。

化学物質の分類は物質のハザード特性にのみ基づいており、その物質の使用や暴露の可能性は考慮されない。暴露は、農薬有効成分のリスク評価の一部と見なされており、これは EFSA が主導するプロセスである。

グリホサートは現在、2017 年の ECHA による評価の前後ともに、目に深刻な損傷を与え、水生生物に長期的な影響を及ぼす毒性をもつものとして統一分類となっている。生殖細胞の変異原性や発がん性、あるいは生殖毒性についての分類は必要ないとされた。AGG による初期の科学的評価では、既存の分類の変更を推奨していない。

EFSA はグリホサートの分類に関する ECHA の意見の結果を考慮した上で、2022 年後半に作業を最終化する予定である。その後、欧州委員会が EU27 カ国のリスク管理者と共に、グリホサートの EU 域内での使用の認可を更新するかどうかを決定する。

背景

グリホサートは植物保護製品(PPPs)に広く使用されている化学物質である。グリホサートを主成分とする PPPs (グリホサート、製剤補助剤、その他の化学物質を含む製剤)は、主に農業や園芸で、栽培作物と競合する雑草を防除するために使用されている。欧州委員会は 2017 年にグリホサートに 5 年間の認可を与えた。今のところ、2022 年 12 月 15 日まで EU での使用が認められている。これは、製品が各 EU 加盟国で自国の管轄機関によって安全性評価を受け、認可されていることを条件として、その日まで PPPs の有効成分として使用できることを意味する。

*意見募集サイト

<https://connect.efsa.europa.eu/RM/s/publicconsultation2/a011v00000E7RMa/pc0086>

2021年9月21日から2021年11月22日まで。

5. 農薬関連

- 施設の草地及び球根や花の塊茎作物の殺菌剤として植物保護に使用されるプロピオン酸カルシウムの認可のための基本物質申請に関する加盟国と EFSA との協議結果

Outcome of the consultation with Member States and EFSA on the basic substance application for approval of calcium propionate to be used in plant protection as a fungicide in amenity grassland and on flower bulb and flower tuber crops

EFSA Journal 2021;18(9):EN-6834 16 September 2021

<https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-6834>

(技術的報告書)

EFSA が協議結果をまとめ、個別に受け取ったコメントの EFSA の科学的見解を提示した。

- ブルーベリーとクランベリーのプロキナジドの既存 MRLs 改定

Modification of the existing maximum residue levels for proquinazid in blueberries and cranberries

EFSA Journal 2021;19(9):6835 13 September 2021

<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/6835>

(理由付き意見)

- 生鮮ハーブとエディブルフラワーのベンゾビンジフルピルの既存 MRLs の改訂

Modification of the existing maximum residue levels for benzovindiflupyr in fresh herbs and edible flowers

EFSA Journal 2021;19(9):6839 17 September 2021

<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/6839>

(理由付き意見)

- β -シフルトリンとシフルトリンの既存 MRLs のレビュー

Review of the existing maximum residue levels for Beta - cyfluthrin and Cyfluthrin according to Article 12 of Regulation (EC) No 396/2005

EFSA Journal 2021;19(9):6837 23 September 2021

<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/6837>

(理由付き意見)

既存の MRL より多いコーデックス最大残留基準 (CXL) の場合の消費者への急性リスクの可能性以外は、消費者へのリスクは確認されなかった。

- 各種作物のフルチアニルの輸入トレランスの設定

Setting of import tolerances for flutianil in various crops

EFSA Journal 2021;19(9):6840 24 September 2021

<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/6840>

(理由付き意見)

-
- 英国 食品基準庁 (FSA : Food Standards Agency) <http://www.food.gov.uk/>

1. FSA 理事会 2021 年 9 月

September 2021 FSA Board meeting

15 September 2021

<https://www.food.gov.uk/news-alerts/news/september-2021-fsa-board-meeting-0>

2021 年 9 月 15 日にオンラインで行われた FSA 理事会が終了した。議題は、FSA/FSS 食品基準年次報告書、ゲノム編集最新情報、運用転換プログラム (将来の宅配モデルに関する公開協議)、など。

- FSA 理事会は「国民の食生活の現状」に関する新しい年次報告書を支持

FSA Board backs new annual report into 'the state of the nation's plate'

16 September 2021

<https://www.food.gov.uk/news-alerts/news/fsa-board-backs-new-annual-report-into-the-state-of-the-nations-plate>

2021 年 9 月 15 日の FSA 理事会はゲノム編集から FSA による食肉処理場の検査方法の近代化まで、さまざまなトピックについて議論した。

2022 年に、食品基準に関する年次報告書が開始される。この報告書は、FSA と FSS が「国民の食生活の現状」を明らかにする機会となり、英国の食品基準が維持されているのか、低下しているのか、改善されているのか、を幅広い根拠を用いて検証する。また、消費者が特に関心を持っている、あるいは興味を持ち始めている問題を取り上げる。FSA 長官である Susan Jebb 教授は、この報告書が「英国の食品基準について知りたい人が誰でも参照するもの」となれるようにと、報告書への期待を表明した。

もう 1 つの重要な議題は、最近行われた公開討議を受けて、食肉工場やその他の一次生産施設で検査官が行う「公的管理」の方法を近代化するための FSA のプログラムに関する最新情報であった。理事会は、この変更が小規模事業者に与える影響を敏感に察知する必要があると強調した。

理事会はまた、ゲノム編集 (GE) の規制に関する英国環境・食料・農村地域省 (Defra)

の諮問に対する政府の回答に先立ち、GEに関する最新情報を提供された。理事会は、この規制領域に変化が必要であること、遺伝子編集された食品は食品安全規制機関によって認可されるべきであることに同意した。また、食品への信頼を強固なものにするために、FSAやDefraなどが科学を説明し、世論を理解することの重要性を強調した。

その他の議題では、EUからの輸入品に対する事前通知の導入を2022年1月1日まで延期するとの政府の発表を受けて、最新情報が提供され、延期による影響はほぼないことが説明された。理事会はまた、国家食料戦略の発表とそのFSAへの提言を歓迎したが、これらの提言のいくつかは、FSAが現在持っていない立法上の権限と資源を必要とすることに注意を促した。

●FS スコットランド (FSS : Food Standards Scotland)

<http://www.foodstandards.gov.scot/>

1. FSS 理事会 - 9月15日

FSS Board Meeting 15 September 2021

13 SEPTEMBER 2021

<https://www.foodstandards.gov.scot/news-and-alerts/fss-board-meeting-15-september-2021>

2021年9月15日にオンラインで行われるFSS理事会の案内。

<議題>

https://www.foodstandards.gov.scot/downloads/Board_Meeting_-_2021_September_15_-_Revised_Agenda.pdf

- ・ 2021年5月19日および2021年7月1日のFSS理事会議事録
- ・ 理事長報告
- ・ 年次報告書：情報公開請求および苦情
- ・ 会計報告
- ・ EU離脱後8か月の報告
- ・ Dimplebyによるレビュー：最近発表された英国の国家食料戦略パート2 (NFS) の概要とFSSの目標に関連する主要な提言の紹介
- ・ FSSとFSAによる食品基準に関する年次報告書

2. スコットランドの外食産業分野におけるCovid-19の影響について

The impact of Covid-19 on the out of home sector in Scotland

10 September 2021

<https://www.foodstandards.gov.scot/publications-and-research/publications/the-out-of-home-environment-in-scotland-2020>

Kantar 社のデータ提供と協力により、外食産業（Out of Home : OOH）市場の概要、パンデミック中の人々の食行動の変化など、2020 年の人々の OOH との関わりについての調査を報告する。

【主な調査結果】

一般的な影響

- ・ スコットランドにおける OOH（外食産業）全体的な市場価値は、2019 年と比較して 36%減少し、2020 年に 30 億ポンドとなった。
- ・ OOH 利用の平均回数は、2019 年の週 4.2 回から 2020 年には週 2.6 回と減少した。

影響を受けた人

- ・ スコットランドでは、2020 年の OOH の全体的な利用回数は減少したが、35 歳から 54 歳の年齢層が最も減少し、2019 年と比較して、1 億 7600 万回の利用減少であった。
- ・ 2020 年、スコットランドで最も貧困度の低い地域に住む人は、平均で約 6.17 ポンドと 1 回あたりの OOH の食品購入金額が多くなり、最も貧困度の高い地域に住む人は、平均約 4.29 ポンドと支出が最も少なかった。
- ・ 2020 年はスコットランドの農村に住む人は年間 186 回、都市に住む人は 126 回、OOH を利用したが、2019 年に比べ、両者とも 3 分の 1 減った。

消費者はどこで、何を食べたのか？

- ・ パンデミックの制限以降、2019 年に比べ、昼の外食機会は 50%減と最も大きかったが、夜の外食減少率は 24%にとどまった。
- ・ 2019 年と比較して、「飲料」分野が 42%減、「主食」分野が 30%減と影響をうけた。

テイクアウトとデリバリー

- ・ テイクアウトは、2019 年と比較して 2100 万回の利用増加があり、31%増の 11 億ポンドの市場に成長した。アプリ利用によるテイクアウト注文が大幅に増加した。また 2020 年は新規で 120 万人（54%増）がデリバリーを利用した。

プロモーション

- ・ スコットランドでは、助成を利用した外食の割合は、制限の影響から増減はあったが、全体的には 2019 年とほぼ同様の結果となった。また、Eat Out to Help Out スキーム（OOH 市場の活性化対策）の期間中、英国全体で 8 億 3,200 万 ポンドが追加で消費され、前月比 5,400 万回の利用増加であった。

3. 学生向け: 清潔なキッチンでスマートに安全に

Students: cook smart in clean kitchens to stay safe

20 SEPTEMBER 2021

<https://www.foodstandards.gov.scot/news-and-alerts/students-cook-smart-in-clean-kitchens-to-stay-safe>

スコットランド食品基準局（FSS）は新学期を前に安全で健康的な食事を学生に呼びかける。

COVID-19 は未だに流行中で健康上のリスクがあるため、今年はこれまで以上に学生が心身の健康を維持し、安全に楽しむことに注力しなければならない。そこで FSS は安全で健康的な食事のための学生用チェックリストを作成した。リストには、調理を衛生的に行うためにキッチンを清潔に保つこと、食事の計画と使用期限を確認すること、食品廃棄物を出さないために残り物を安全に使うこと、食中毒を防ぐための簡単なルールを守ること、食品を最も効率的かつ衛生的に保存し、廃棄する方法などが記載されている。

*学生用チェックリスト

<https://www.foodstandards.gov.scot/news-and-alerts/food-safety-and-healthy-eating-for-freshers>

●ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR : Bundesinstitut für Risikobewertung)
<http://www.bfr.bund.de/>

1. 食品中 PFAS : BfR は工業用化合物への重要な暴露を確認

PFAS in food: BfR confirms critical exposure to industrial chemicals

14.09.2021

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/pfas-in-food-bfr-confirms-critical-exposure-to-industrial-chemicals.pdf>

パー及びポリフルオロアルキル化合物(PFAS)は工業化学物質である。その撥水、撥油、防塵の特性のため広く工業工程で使用されており、紙、布、テフロン加工のフライパン、化粧品など非常に多くの消費者製品に使用されている。PFAS は分解し難く、環境、フードチェーン、ヒトの血中に存在する可能性がある。

欧州食品安全機関(EFSA)は 2020 年 9 月に食品中の PFAS が引き起こす健康リスクを再評価した。この報告書の中で、EFSA は耐容週間摂取量(TWI)を、4.4 ng/kg 体重/週と特定した。この TWI は初めて、パーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)、パーフルオロオクタン酸(PFOA)、パーフルオロノナン酸(PFNA)、パーフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)の 4 つの PFAS の合計に適用され、子供における血中 PFAS 濃度とワクチン抗体濃度の低下との相関関係を示した疫学研究に基づく。

BfR は EFSA の健康に基づくガイダンス値の導出を検討し、今後の評価にこの TWI を使用するよう助言している。この意見の中で BfR は、EFSA の新しい TWI と連邦州の食品管理による濃度データに基づき、ドイツの様々な集団の健康リスクを評価している。外部暴露の結果が、血中 PFAS 濃度に関するドイツの 3 都市での内部暴露の研究で補完された。結果として、EFSA と同じように、BfR は一部の集団の暴露が部分的にこの TWI を超えるという結論に達した。

外部・内部暴露評価の結果を総合的に見ると、ドイツ人の一部は PFOS、PFOA、PFNA、

PFHxS に暴露されており、長期間母乳で育てられた場合、生後 1 年間の血清中のワクチン抗体濃度の低下に関連するだろう程度には影響を受けていると思われる。これは食事を通して PFAS に多く暴露する 1~9 歳児にも起こりうる。

現時点では、この研究データは、相当する暴露量で成人や青年の血清中のワクチン抗体濃度に影響を与える可能性があるかどうか、という質問に答えるには十分に結論的ではない。

同時に、BfR は、外部暴露評価にまだ存在する不確実性を強調する。大部分の食品管理によるサンプルにおける PFAS 濃度は、検出及び定量限界以下だったので、PFAS の濃度を決定するより精度の高い方法の開発が推奨される。BfR はまた、血中 PFAS 濃度が高いと実際に感染リスクが増加するのかもしれないという問題に対しても、調査が必要だと考えている。

消費者は PFAS への暴露に対してほとんど何もできない。BfR は食品からの PFAS 摂取をさらに最小限に抑える手段を助言している。PFAS に関する Q&A を現在この意見に基づいて更新中である。

BfR リスクプロファイル

食品中の PFAS : ワクチン接種後の抗体産生の低下(Opinion No. 020/2021)

- A. 影響を受ける人々 : 一般集団、子供
- B. TWI 超過による健康障害の可能性 : 可能性がある (possible : 5 段階の 3 番目)
- C. TWI 超過による健康障害の重篤度 : 中程度の障害[可逆的/不可逆的]
- D. 入手可能なデータの重要性 : 中程度 (一部の重要なデータが不足、又は一貫性がない)
- E. 消費者が自分でコントロール可能か : コントロールできない

2. ゴマに残留するエチレンオキシドの健康リスク評価

Health risk assessment of ethylene oxide residues in sesame seeds

01 September, 2021*

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/health-risk-assessment-of-ethylene-oxide-residues-in-sesame-seeds.pdf>

ドイツの地方当局は、インド産のゴマを含む製品にエチレンオキシドの残留物を検出した。影響を受けた製品は、バー、スナック、サラダのトッピングなど様々な種類があり、市場から撤去された。同時に、EU の緊急警告システムにより、一般市民にも通知された。

EU では、エチレンオキシドは植物保護製品としてのいかなる使用も禁止されている。殺生物剤 (バイオサイド) 製品では、エチレンオキシドを殺菌のための有効物質として使用することができるが、食品との接触は認められない。エチレンオキシドは、変異原性と発がん性がある。したがって、この物質は安全な健康影響に基づくガイダンス値の設定対象ではなく、閾値のない発がん物質を含む植物保護製品の食品への残留は一般的に望ましくない。それゆえ、BfR は欧州食品安全機関 (EFSA) の「large assessment factor アプローチ」に基づいて、いわゆる「低懸念摂取量 (動物実験で腫瘍の頻度が 10 % 増加する用量に 10,000 の安全係数を適用した量)」を導出した。このアプローチはリスク管理者が対象範囲と緊急性に応じてリスク低減措置の優先順位を決めるのに役立つものであり、生涯にわたって摂取

した場合でも、がんになる追加リスクが 10 万分の 1 を超えそうにない物質を算出する。エチレンオキシドの場合、BfR はこの「低懸念摂取量」を体重 1 kg あたり 0.037µg/日 (µg/kg 体重/日) と算出した。しかし、EFSA との合意に基づき、このアプローチは有効物質や植物保護製品の承認や最大残留基準値の設定には使用されないことに留意しなければならない。いかなる状況においても、このアプローチはエチレンオキシドが残留する食品の販売可能性を決定するために用いられるべきではなく、また、閾値のない遺伝毒性発がん物質を最小にするための要件を一般的に放棄することにつながるべきではない。リスク評価では、ALARA の原則に従って、食品や消費者製品に含まれるこのような物質を包括的に削減することが推奨されている。また、定量限界値または法的拘束力のある最大残留基準を超える残留物を有する食品は、たとえ「低懸念」と判定されたとしても、市場に出すべきではない。

地方当局の最新の分析は、調査対象となったゴマのサンプルではエチレンオキシドがほぼ完全に 2-クロロエタノールに変換されていたことを示す。現在、EU では、エチレンオキシドとその代謝物である 2-クロロエタノールの 2 つの物質をまとめて評価している。エチレンオキシドは反応性があり、塩化物の存在下では環の切断が起こり、2-クロロエタノールが生成される。そのため、エチレンオキシドで処理した香辛料やゴマからは、高濃度の 2-クロロエタノールが検出されることがある。蒸気圧と反応性が高いため、食品中のエチレンオキシドの残留量は比較的少ないと予想され、加工時の加熱処理によって残留量はさらに減少する。一方、食品中に残留する 2-クロロエタノールについては同様ではない。

EU のゴマ 1 kg あたり 0.05 mg のエチレンオキシドの残留最大許容値は、それぞれの分析上の検出限界値に基づいており、エチレンオキシドと 2-クロロエタノールの合計値に関連する。合計値はエチレンオキシドとして報告される。動物実験で 2-クロロエタノールによる変異原性が示唆されていることから、BfR はこのアプローチを支持する。また、実際の汚染実態データを入手できていないため、代わりに定量限界値及び最大残留基準である 0.05 mg/kg を適用し、German NVS II モデルを使用した短期的な摂取量を評価したところ、1 日に 23.4 g (97.5 パーセントの多量摂取) のゴマを摂取する子供では 0.05 mg/kg でも低懸念摂取量を超えた。成人の場合、1 日 39.6 g (90 パーセントの多量摂取) のゴマを摂取した場合の摂取量は低懸念摂取量を下回った。一方、長期間にわたる平均的な摂取量を考慮すると、子供でも大人でも低懸念摂取量を超えない。現在のところ、2-クロロエタノールの発がん性を確信を持って除外するには十分なデータがない。しかし、分解生成物である 2-クロロエタノールがエチレンオキシドよりも強い変異原性や発がん性を示す可能性は示唆されていない。したがって、代謝物である 2-クロロエタノールの遺伝毒性および発がん性については、エチレンオキシドと同様に評価することが推奨される。

3. 食品添加物と香料の検出性の向上

Improved detection of food additives and flavourings

15.09.2021

https://www.bfr.bund.de/en/press_information/2021/39/improved_detection_of_food_add

[itives and flavourings-283329.html](#)

－BfR に新設された食品添加物と香料のリファレンスラボについて－

新しいリファレンスラボは、食品添加物や香料の分析法を開発し、その標準化に貢献し、連邦州の食品管理当局を支援する。さらに、香料が、天然由来か合成由来かを検査する。また、無許可の使用を明らかにし、食品の安全性を高めるために、無許可の食品添加物や香料を検出するための分析法の開発も行う。

EU の食品製造業者には、技術的な使用を目的として約 320 種類の食品添加物と約 2500 種類の香料の使用が許可されているが、これまで標準化された分析法は、比較的少数の食品添加物や香料に対してしか開発されていない。このためドイツや EU 全体では、食品添加物や香料の使用を体系的にモニタリングすることは限られた範囲でしかできなかった。リファレンスラボを介して有効かつ標準化された分析法を提供することは、体系的なモニタリングを確立する上で重要な一歩である。食品添加物と香料に関する EU 規則では、こうしたモニタリングを必須としている。EU 食品管理規則の要件に基づき、このようなリファレンスラボを設立したのは、加盟国ではドイツが初となる。

様々な組み合わせで使用される可能性のある数多くの添加物があるため、リスクに基づいて、検出法の開発、妥当性確認、標準化に優先順位をつける必要がある。許容一日摂取量 (ADI) が設定されている添加物 (保存料、着色料、甘味料、乳化剤など) が最優先である。これらの物質の場合、多様な食品の濃度データと利用可能な消費量データに基づき、様々な年齢層が ADI に対してどの程度まで摂取しているのかを、可能な限り正確に判断することを課題とする。この課題に取り組むには、ある機能性グループに属する様々な添加物を、食品サンプル中で定量的に、かつ 1 回の分析で判断できる方法、いわゆるマルチ分析法が必要となる。

この新しい課題に対し、BfR はワインの分析、飼料添加物の分析、食品の真正性を検査する過去のプロジェクトなど、自らの経験を生かす必要がある。一方で、分析法の開発には国内及び国際的なパートナーから得られる知識を活用することができるだろう。特に確立された分析法は、ドイツ連邦消費者保護・食品安全庁 (BVL) の協力を得て、ドイツ食品及び飼料法 (LFGB) の第 64 条に従った分析法の公式コレクションの一部として基準を設定したり、データベースを介して、食品管理当局だけでなく、食品事業者や民間の研究所が利用できるようにする必要がある。

●フランス食品・環境・労働衛生安全庁 (ANSES : Agence Nationale de Sécurité Sanitaire de L'alimentation, de L'environnement et du Travail)

<http://www.anses.fr/>

1. キノコ狩りの季節が今年は早い：中毒リスクを避けるように

The mushroom-picking season has come early this year: take care to avoid the risk of poisoning

31/08/2021

<https://www.anses.fr/en/content/mushroom-picking-season-has-come-early-year-take-care-avoid-risk-poisoning-0>

今年の7月と8月の気象条件から、野生のキノコが早く採取できる。すでに摂取による多くの中毒事例が観察されている。こうした事例の中には重篤なもの（重度の消化器疾患、腎臓の合併症、あるいは移植が必要な可能性のある肝障害）や死に至るものさえある。専門家であろうとたまたま採取する人であろうと、十分に注意を払い、適切な方法を守って確実に安全な摂取を心がけるべきである。

2021年にすでに3人の中毒死亡者

消費者は、食用種と有毒種の取り違え、または状態が悪い、又は調理不十分な食用キノコの摂取により、複数の中毒リスクに直面している。2021年7月1日～8月29日に、すでに330件の中毒事例がフランス中毒管理センターに報告されており、そのうち3件は深刻で命に関わるものだった。さらに、今年これまでに3人の死亡も記録されている。

前シーズンのレビュー

ANSESはフランス中毒管理センターのデータを用いて、野生キノコによる中毒の季節的なモニタリングを実施している。

前シーズンのレビューから、2020年7月1日～12月31日には1,300件以上の中毒が中毒管理センターに報告され、特に10月が多く（事例の56%）、雨量、湿度、低温がキノコの成長と採取に好都合だったことがわかる。多くの事例で、人々は自分で採ったキノコで中毒を起こしていたが、中毒の4.5%は市場や店で購入したキノコが原因だった。ほとんどは食事中に発生したが、事例の3%は子供やアルツハイマー病や知的障害などの認知障害の大人が関与しており、庭や校庭で見つけた食べられないキノコの一部を摂取していた。また、スマートフォンのキノコ識別アプリを使用したことで、食用種と混同してしまったケースもあった。

観察された症状は主に腹痛、吐き気、嘔吐、下痢など消化器系だった。これらの中毒の多くは軽症であったが、命に関わる予後の事例が29件あり、5人が死亡した。

事故を避けるための助言

残念ながら毎年再発する状況に応じて、ANSES、フランス中毒管理センター、フランス保健総局は以下の助言を提供している。

- よく知っているキノコだけを採ること。毒性の高いキノコの中には食用種ととても似ているものがある。前年食用キノコを採った同じ場所に毒キノコが生えていることもある。
- もしも採ったキノコの状態や鑑別にほんの少しでも疑いを持ったなら、専門家に確認して貰うまで食べないこと。薬剤師や地方の真菌学会や協会に助けを求めることができる。

- 同定しやすいように状態の良いものだけを採り、キノコ全体(柄と傘)を取ること。
- 道端、工業地帯、埋め立て地など汚染の可能性のある場所の近くでキノコを採るのは避けること。
- 毒キノコの一部を食用キノコと間違えるのを避けるために、採取したキノコは種類ごとに慎重に分けておくこと。
- 採ったキノコは箱、木箱、バスケットなどに入れ、劣化を加速するビニール袋には入れないこと。
- 冷蔵庫でキノコを保管し(最大 4°C)、他の食品との接触を避け、2 日以内に食べること。
- キノコは完全に加熱調理して(20～30 分炒める、あるいは 15 分間茹でる)適量を食べ、絶対に野生のキノコを生で食べないこと。
- 自分で採ったキノコを幼児に食べさせないこと。
- 庭や校庭で見つけたキノコを口に入れないように子供に教えること。
- 誤認のリスクが高いため、スマートフォンのキノコ識別アプリだけで確認したキノコを食べないこと。
- 露地で販売されるキノコを食べないこと。

症状が現れるまでの時間は様々である。大抵、摂取から数時間で現れるが、もっと時間がかかることもある。12 時間を超えて発症し、その後患者の状態が急速に悪化する可能性もある。症状が現れたら、最後の食事の時間や症状が現れ始めた時刻の記録を取り、鑑別のために残りの野生キノコを保管しておくことが役に立つ。調理前にキノコの写真を撮り、必ず種類ごとに分けておくこと。これらの写真は中毒が起きた場合に、中毒管理センターで毒性学者が適切な治療を判断するのに役立つ。キノコを食べた後に症状(下痢、嘔吐、吐き気、震え、目まい、視覚障害など)を発症したら、すぐに中毒管理センターに連絡し、キノコを食べたと必ず伝えること。

●アイルランド食品安全局 (FSAI : Food Safety Authority of Ireland)

<http://www.fsai.ie/index.asp>

1. 食肉及び鶏肉のハラール表示の監査

Audit of Halal Claims on Meat and Poultry

Monday, 13 September 2021

<https://www.fsai.ie/HalalAudit.html>

アイルランド食品安全局 (FSAI) は本日、「食肉及び鶏肉のハラール表示に関する監査」を発表した。この監査では、製造または販売されている製品に関するハラール表示を裏付けるために、食品事業者の管理体制の評価に焦点が当てられた。ハラールに基づく食肉処理の宗教的側面や処理方法などは評価の対象外。

監査の対象となったのは、消費者向けの食品事業で、食肉カウンターのある小売店、レストラン、精肉店、航空会社のケータリングなど。消費者向けビジネスの監査に続いて、食肉と鶏肉のサプライヤーの詳細とラベルやその他の文書が照合された。違反は 1 件のみ。ほぼすべての監査を受けた消費者向け事業者が、ハラール屠殺を行うことが承認されているサプライヤーからハラール食肉・鶏肉を購入しており、食品事業者の加工・屠殺工場レベルでのハラール肉のトレーサビリティと供給に関する管理は、本監査の時点で有効であることが判明した。

2. 未殺菌の植物性発酵食品に関する食品安全ガイダンスを発行

Food Safety Guidance Published for Unpasteurised Fermented Plant-based Products

Thursday, 23 September 2021

https://www.fsai.ie/news_centre/press_releases/fermented_products_guidance_23092021.html

アイルランド食品安全局（FSAI）は本日、生産者が安全な製品を製造することを支援するため、新しいガイダンス「Good Manufacturing Practices for the Production of Ready-to-eat Unpasteurised Fermented Plant-based Products（そのまま喫食可能な未殺菌の植物性発酵食品生産に関する適正製造基準）」を発行した。本ガイダンスは、FSAI が実施した未殺菌の植物性発酵飲料（コンブチャ、ケフィア、ジンジャーソーダなど）に関する調査を踏まえて作成され、調査の結果、一部の飲料のアルコール含有量に問題があった。EU の表示規則では、アルコール含有量が 1.2%を超える食品では、アルコール含有量を表示することが義務付けられている。

この新しいガイダンスは、EU およびアイルランドの食品法を遵守するための最善の方法を事業者に伝え、植物由来の発酵製品の安全で一貫した製造、保管、取り扱い、表示を可能にする。

3. リコール情報

- **安全でない濃度のデルタ-9-テトラヒドロカンナビノール (THC) が含まれていたため、様々な未承認の新規 CBD フードサプリメントをリコール**

Recall of Various Unauthorised Novel CBD Food Supplements Due to the Presence of Unsafe Levels of delta - 9 - tetrahydrocannabinol (THC)

Wednesday, 15 September 2021

https://www.fsai.ie/news_centre/food_alerts/cbd_oil_various_the_novel.html

安全でない濃度のデルタ-9-テトラヒドロカンナビノール (THC) が含まれていたため、様々な未承認の新規 CBD フードサプリメントをリコール。製品写真有り。

● 米国食品医薬品局（FDA：Food and Drug Administration） <http://www.fda.gov/>,

1. FDA、FTC は糖尿病を治療すると表示するダイエタリーサプリメントを違法に販売した 10 社に警告する

FDA, FTC Warn 10 Companies Illegally Selling Dietary Supplements Claiming to Treat Diabetes

September 09, 2021

<https://www.fda.gov/news-events/press-announcements/fda-ftc-warn-10-companies-illegally-selling-dietary-supplements-claiming-treat-diabetes>

本日、米国食品医薬品局（FDA）及び米国連邦取引委員会（FTC）は、糖尿病の治癒、治療、緩和あるいは予防を表示したダイエタリーサプリメントを違法に販売したとして、連邦食品医薬品化粧品法（FD&C 法）に違反する 10 社への警告文書を発出した。FDA は、これらの製品や類似製品は、意図された用途に対する安全性や有効性が FDA によって評価されておらず、有害である可能性があるため、消費者に使用しないよう呼びかけている。

警告文書は以下の企業に発出した： Live Good Inc. ; Pharmaganics LLC ; Lysulin Inc. ; Nuturna International LLC; Phytage Labs; Ar-Rahmah Pharm LLC; Metamune Inc.; Holistic Healer & Wellness Center Inc.; Radhanite LLC; Aceva LLC。

FDA の食品安全・応用栄養センターのダイエタリーサプリメントプログラム部の部長代理である Cara Welch 博士は、「3,400 万人以上のアメリカ人—10 人に 1 人強—が糖尿病である。糖尿病の治療効果を不正に表示するダイエタリーサプリメントは、未承認の新規医薬品に該当し、FDA が承認した安全で効果的な治療ではなく、これらの製品を使用する消費者に有害である可能性がある。FDA は、糖尿病の治療や予防を表示する違法な製品や企業から米国の消費者を保護することを約束しており、消費者を危険にさらす製品について市民に警告することで、企業の責任を追及していく。」と述べた。

FD&C 法では、疾病の診断、治癒、治療、緩和あるいは予防を目的とした製品は医薬品であり、たとえダイエタリーサプリメントと表示されていても、医薬品の要件が適用される。本日発表した警告文書の対象となる未承認の製品は、FDA が承認した医薬品とは異なり、意図した用途が有効であるかどうか、適切な投与量はどの程度か、FDA が承認した医薬品やその他の物質とどのように相互作用するか、あるいは、危険な副作用やその他の安全性の懸念がないかについて、FDA は評価していない。FDA は、消費者がダイエタリーサプリメントや医薬品の購入や使用を決定する前に、医師、薬剤師またはその他の医療従事者に相談することを勧める。また、謳い文句が良すぎると思われる場合は、おそらく未承認の製品である。

製品が反応や病気を引き起こしたと思うならば、直ちにその製品の使用を中止し、医療従事者に相談すべきである。また、FDA は、医療従事者および消費者に対し、FDA の規制品に関連する有害反応を MedWatch または Safety Reporting Portal を用いて報告することを推奨する。

FDA は企業に対し、15 営業日以内にこれらの問題にどのように対処するのか、または製品が法律に違反していないと考える理由と裏付け情報を回答するよう求める。違反行為を速やかに是正しない場合は、製品の差し押さえや差し止めを含む法的措置がとられる可能性がある。

* 関連記事

【FTC】 FTC は科学的根拠のない糖尿病治療法の表示を行った疑いのある 10 社に停止要求書を送付

<10 社への警告文書>

以下、未承認の新規医薬品、不正表示の問題。ダイエタリーサプリメント製品において糖尿病の治療を謳うなどの違反。発出日：SEPTEMBER 07, 2021

- Holistic Healer & Wellness Center, Inc.

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/holistic-healer-wellness-center-inc-614538-09072021>

- Metamune Inc

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/metamune-inc-614543-09072021>

- Live Good Inc.

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/live-good-inc-614575-09072021>

- Pharmaganics LLC

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/pharmaganics-llc-614576-09072021>

- Nuturna International LLC

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/nuturna-international-llc-614577-09072021>

- Phyttag Labs

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/phytag-labs-614514-09072021>

- Lysulin, Inc.

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/lysulin-inc-614517-09072021>

- Ar-Rahman Pharm LLC

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/ar-rahman-pharm-llc-614578-09072021>

- Aceva, LLC

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/aceva-llc-614579-09072021>

[investigations/warning-letters/aceva-llc-614539-09072021](https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/aceva-llc-614539-09072021)

- Radhanite, LLC d/b/a Curalife Ltd

[https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-](https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/radhanite-llc-dba-curalife-ltd-614542-09072021)

[investigations/warning-letters/radhanite-llc-dba-curalife-ltd-614542-09072021](https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/radhanite-llc-dba-curalife-ltd-614542-09072021)

2. FDA は「低コストまたはコストのかからない食品トレーサビリティチャレンジ」の受賞者を決定する：ソリューションを紹介するウェビナーを企画する

FDA Selects Winners for Low- or No-Cost Food Traceability Challenge; Plans Webinar to Showcase Solutions

September 13, 2021

<https://www.fda.gov/food/cfsan-constituent-updates/fda-selects-winners-low-or-no-cost-food-traceability-challenge-plans-webinar-showcase-solutions>

本日、FDA は「低コストまたはコストのかからない食品トレーサビリティチャレンジ」の受賞者である 12 チームを発表した。各国から 90 件の応募があり、受賞は米国、カナダ、ニュージーランドを代表するチームであった。

*受賞チームの応募動画

<https://www.fda.gov/food/new-era-smarter-food-safety/announcing-winners-fdas-low-or-no-cost-food-traceability-challenge>

2021 年 9 月 28 日の 11 時から、FDA は低コストまたはコストのかからない食品トレーサビリティチャレンジウェビナーを開催する。今回の受賞 12 チームが彼らの提案を発表し、Q&A セッションで質問に生で答える。

*ウェビナー参加サイト

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=F2P8MPyQiwg>

3. FSMA の農産物安全規則が韓国語と日本語で利用できる

FSMA's Produce Safety Rule Now Available in Korean and Japanese

September 10, 2021

<https://www.fda.gov/food/food-safety-modernization-act-fsma/fsma-final-rule-produce-safety>

農産物安全規則 (Produce Safety Rule) は、ヒトが消費するために栽培される果実や野菜の安全な栽培、収穫、包装、保管のための科学的根拠に基づく最低基準を初めて制定したものである。このルールは、FDA 食品安全近代化法 (FSMA) の実施に向けた継続的な取り組みの一環である。最終規則は、2016 年 1 月 26 日に発効した。スペイン語、ポルトガル語、中国語訳に加えて、今回韓国語と日本語訳が追加された。

*FDA FSMA の農産物安全規則の日本語訳。

<https://www.fda.gov/media/152004/download>

4. FDA はデジタルトランスフォーメーションの新たな部署を設立し、データと IT の近代化の取り組みを進める

FDA Advances Data, IT Modernization Efforts with New Office of Digital Transformation

September 15, 2021

<https://www.fda.gov/news-events/press-announcements/fda-advances-data-it-modernization-efforts-new-office-digital-transformation>

本日、米国食品医薬品局（FDA）は、情報技術（IT）、データ管理、サイバーセキュリティ機能を、新たに「デジタルトランスフォーメーション部（ODT）」として再編することを発表した。この再編成により、FDA は、ベストプラクティスに基づいた、より効果的で効率的なデータと IT 管理を導入し、重複するプロセスを削減し、最も顧客の利益につながるプロジェクトを用いて技術的な効率化を実施し、機関のオフィスやセンター内の共有サービスを促進することが可能となる。

FDA は科学を基盤とした機関として、膨大な量のデータを管理し、重要な意思決定や国民への情報提供を行う。データと情報の管理を優先することで、アメリカ国民は、この複雑な世界で FDA が規制する食品、医薬品、医療機器、その他の製品の安全性をより確実に享受することができる。

FDA は 2019 年 9 月から「Technology Modernization Action Plan（技術の近代化行動計画）」によって合理化とプロセス改善を行っている。今年の内には「Data Modernization Action Plan（データの近代化行動計画）」を発表し、個々のセンターと省庁にとって価値の高い推進プロジェクトを特定する取り組みを始めた。

5. デルタ-8 テトラヒドロカンナビノールについて知っておくべき 5 つのこと

5 Things to Know about Delta-8 Tetrahydrocannabinol – Delta-8 THC

09/14/2021

<https://www.fda.gov/consumers/consumer-updates/5-things-know-about-delta-8-tetrahydrocannabinol-delta-8-thc>

デルタ-8 テトラヒドロカンナビノール（デルタ-8 THC）は、*Cannabis sativa*（大麻草 / アサ）に含まれる精神活性物質であり、*Cannabis sativa* にはマリファナとヘンプの 2 種類がある。デルタ-8 THC は、大麻植物が自然に産生する 100 種類以上のカンナビノイドの 1 つであるが、ごく微量にしか含まれない。そのため高濃度デルタ-8 THC は、ヘンプ由来のカンナビジオール（CBD）から製造するのが一般的である。

<消費者が知っておくべき 5 つの点>

1. デルタ-8 THC 製品は安全な使用に関する FDA の評価や承認を受けておらず、公衆衛生を危険にさらすような方法で販売されている可能性がある

現在オンラインや店舗で販売されているデルタ-8 THC 製品に関して、製品の配合や製品ラベルのばらつき、他のカンナビノイドやテルペンの含有量、デルタ-8 THC の濃度のばら

つきなどの懸念が高まっている。また、これらの製品の中には単に「ヘンプ製品」と表示されたものがあり、「ヘンプ」を「精神活性作用がない」と思っている消費者に誤解を与えている。さらに、デルタ-8 THC 含有製品が治療用または医療用として販売されている事例が増加している。根拠のない治療効果を強調する未承認の製品を販売することは、連邦法に違反するだけでなく、安全性や効果が証明されていないため、消費者を危険にさらすことになる。

2. FDA は、デルタ-8 THC 含有製品に関する有害事象の報告を受けている

FDA は 2020 年 12 月から 2021 年 7 月にかけて、個人又は規制当局から、デルタ-8 THC 製品を摂取した 22 人の患者についての有害事象報告を受け、そのうち 14 人が治療のため病院または救急治療室を受診した。22 人のうち 19 人がデルタ-8 THC を含む食品（ブラウニー、グミなど）を摂取したことで有害事象（嘔吐、幻覚、起立困難、意識消失など）を経験した。

全国中毒管理センターは、2018 年 1 月から 2021 年 7 月 31 日の間に、デルタ-8 THC 製品の暴露事例を 661 件受け取り、そのうち 660 件は 2021 年 1 月 1 日から 2021 年 7 月 31 日までの間に発生した。661 件のうち：

- ・ 41%が非意図的な暴露で、そのうち 77%が 18 歳未満の子供
- ・ 39%が 18 歳未満の子供
- ・ ICU での集中治療が必要となった子供を含め、18%が入院

3. デルタ-8 THC は精神活性作用や中毒作用がある

デルタ-8 THC にはデルタ-9 THC（大麻を使用したときに「ハイ」な状態にする成分）と類似の精神活性作用と中毒作用がある。メディアはデルタ-8 THC 製品が消費者を「ハイ」にすると報告している。FDA はまた、デルタ-8 THC 製品によって消費者が、ヘンプや大麻の抽出物に自然に存在するよりもはるかに高い濃度でデルタ-8 THC に暴露される可能性が高いことを懸念している。

4. デルタ-8 THC 製品は、表示されている濃度のデルタ-8 THC を作り出すために、潜在的に有害な化学物質を使用していることが多い

ヘンプに自然に含まれるデルタ-8 THC の量は非常に少なく、CBD のようなヘンプに含まれる他のカンナビノイドをデルタ-8 THC に変換するためには、追加の化学物質が必要となる（つまり、合成変換）。このプロセスで懸念される事柄は：

- ・ この化学合成プロセスに安全性の低い家庭用化学薬品を使用したり、色を変えるために、化学物質を追加する製造業者がいる。最終製品には、使用された化学物質に起因する潜在的に有害な副産物（汚染物質）が含まれている可能性があり、また出発原料の組成に応じて、どんな化学物質が副産物として存在または生成されるか定かでない。デルタ-8 THC の製造（合成）に使用される化学物質や合成時に発生する副産物を含むこれらの化学物質は、摂取したり吸い込んだりすると有害となる可能性がある。
- ・ デルタ-8 THC 製品の製造は、管理されていない、あるいは非衛生的な環境で行われることがあり、それによって安全でない汚染物質やその他の潜在的な有害物質が存在す

る可能性がある。

5. デルタ-8 THC 製品は、子供やペットの手が届かないようにすること

製造業者はこれらの製品を子供にアピールするような形で包装し、表示している（グミ、チョコレート、クッキー、キャンディなど）。製品は、オンラインで購入できるほか、コンビニエンスストアやガソリンスタンドなど、年齢制限のないさまざまな小売店でも購入することができる。上述のように、デルタ-8 THC 製品による子供に影響した有害事象が数多く報告されている。また、動物中毒管理センターが、ペットがこれらの製品に暴露される事故が全体的に急激に増加していると指摘している。

* 関連記事

【US CDC】デルタ-8 THC を含む大麻製品の入手可能性と報告される有害事象の増加

6. 警告文書

● Chula Vista Imports Ltd.

SEPTEMBER 08, 2021

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/chula-vista-imports-ltd-614758-09082021>

「外国供給業者検証プログラム (FSVP)」違反の問題。

● New York Nutrition Company / American Metabolix

SEPTEMBER 08, 2021

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/new-york-nutrition-company-american-metabolix-611994-08312021>

未承認の新規医薬品、不正表示の問題。ダイエタリーサプリメントの原材料リストに食品への添加が認められていないホルデニン塩化水素やヒゲナミン塩化水素がある。

● McDaniel Water, LLC

SEPTEMBER 07, 2021

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/mcdaniel-water-llc-616186-09072021>

未承認の新規医薬品、不正表示の問題。製品の原材料リストに腐食性物質である赤根草 (*Sanguinaria canadensis*) と塩化亜鉛がある。「インディアンハーブ」の類似製品。

● Brilliant Enterprises LLC

JULY 20, 2021

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/brilliant-enterprises-llc-609523-07202021>

未承認の新規医薬品、不正表示の問題。

● Fibromyalgia Treatment Group - FTG, LLC

AUGUST 26, 2021

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/fibromyalgia-treatment-group-614183-ftg-llc>

未承認の新規医薬品、不正表示の問題。ダイエットサプリメント、ハーブ製品を含む。

- **FMT Services, LLC**

JUNE 29, 2021

<https://www.fda.gov/inspections-compliance-enforcement-and-criminal-investigations/warning-letters/fmt-services-llc-614466-06292021>

FSVP 違反の問題。

7. リコール情報

- **Seviroli Foods**社は **H-E-B Jumbo Stuffed Shells - 22 Oz** に異物が混入している可能性があるため、自主的にリコールを発表する。

Seviroli Foods Voluntarily Issues a Recall of H-E-B Jumbo Stuffed Shells - 22 Oz Due to Potential Presence of Foreign Material

September 14, 2021

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/seviroli-foods-voluntarily-issues-recall-h-e-b-jumbo-stuffed-shells-22-oz-due-potential-presence>

SEVIROLI FOODS, INC は、製品に異物（金属）が混入している可能性があり、製品の品質に万全を期すため、H-E-B Jumbo Stuffed Shells - 22 oz をリコールしている。

-
- 米国疾病予防管理センター（US CDC : Centers for Disease Control and Prevention）

<http://www.cdc.gov/>

1. デルタ-8 THC を含む大麻製品の入手可能性と報告される有害事象の増加

Increases in Availability of Cannabis Products Containing Delta-8 THC and Reported Cases of Adverse Events

September 14, 2021

<https://emergency.cdc.gov/han/2021/han00451.asp>

CDC の健康警告ネットワーク（Health Alert Network : HAN）がデルタ-8 テトラヒドロカンナビノール（THC）を含む大麻製品が入手しやすくなっていること、THC とカンナビジオール（CBD）を含む製品のラベル表示が不十分なために有害事象が発生する可能性があることを、公衆衛生局、医療従事者、救急隊員、中毒管理センター、検査機関、および一般市民に警告した。

「THC」という言葉は通常、大麻に最も多く存在する THC 異性体であるデルタ-9 THC のことを指す。しかし THC にはいくつかの異性体があり、デルタ-8 THC は天然には僅か

しか含まれず、デルタ-9 THC の 50-75%程度の向精神活性があると推定されている。デルタ-8 THC の健康への影響はまだ広く研究されておらず、十分に理解されていない。CBD が化学合成でデルタ-8 THC に変換されるが、有害な副産物を生じる可能性がある。

マリファナ及びヘンプの両方の市場で、デルタ-8 THC 製品の増加が加速している。デルタ-8 THC は規制されておらず、成分として表示されていない場合がある。そのため、デルタ-8 THC を含む製品で、THC 総量ではなくデルタ-9 THC の含有量のみを表示しているものは、製品の精神活性作用を過小評価する可能性がある。さらに、デルタ-8 THC を含む製品が、精神活性作用がないとされるヘンプや CBD 製品と混同される可能性がある。

近年デルタ-8 THC の関与する有害事象報告が増加している。2021年3月のウエストバージニア中毒管理センターに報告された2人のケースでは、デルタ-8 THC 製品を CBD 製品と誤解して摂取し、大麻中毒の症状が現れた。ミシガン中毒管理センターの事例では、2人の子供が親のデルタ-8 THC 含有グミを食べて ICU に入院した。2021年に米国中毒管理センターは全国中毒データシステムにデルタ-8 THC の製品コードを導入し、この新しいコードで1月1日から7月31日の間に660件のデルタ-8 THC 暴露を記録している。18%が入院を要し、39%は18才未満であった。

*関連記事

【FDA】デルタ-8 テトラヒドロカンナビノールについて知っておくべき5つのこと

●米国農務省 (USDA : Department of Agriculture)

<http://www.usda.gov/wps/portal/usdahome>

1. 培養肉に関する請願への回答

● 米国肉牛業者協会の請願に対する FSIS の最終回答

Petition Submitted by U.S. Cattlemen's Association (Feb 9, 2018)

FSIS Final Response (Sep 16, 2021)

https://www.fsis.usda.gov/sites/default/files/media_file/2021-09/18-01-Final-Response-09162021.pdf

「肉 meat」と「牛肉 beef」という単語を、伝統的に育てられ、収穫された動物由来の製品に限定し、そうすることで培養肉に使えないようにする請願 (2018年2月9日付け) について、食品安全検査局 (FSIS) は却下することを決定した。請願は、この定義を FSIS の「食品基準と表示の政策ブック (Policy Book)」に記載するよう求めていた。

培養肉製品に関しては、FSIS は請願に示された問題を2021年9月3日に発行した規則制定案公示 (ANPR) を通じて提示する。

● ハーバード大学法科大学院動物法と政策相談所の請願への回答

Petition Submitted by Harvard Law School Animal Law and Policy Clinic (Jun 9, 2020)
FSIS Final Response (Sep 16, 2021)

https://www.fsis.usda.gov/sites/default/files/media_file/2021-09/20-03-Final-Response-09162021.pdf

請願は、培養肉製品の表示に関して、修正第 1 条の商業的言論の保護を尊重した、「細胞由来」の肉および家禽類製品（動物細胞培養技術を用いて製造された肉および家禽類製品）の表示方法を採用するよう求めていた。また、FSIS は、憲法上の問題を引き起こす可能性のある言論制限を設ける前に、最終的な培養肉製品の組成と安全性の特性について FSIS がより良く理解し、提案された表示要件を検討する機会を得るまで待つべきだと主張していた。FSIS は、意見や情報を募集するための規則制定案公示（ANPR）を行ったことをもって請願への回答とするとし、ANPR に基づき意見を提出するよう求めた。

* 関連情報

【USDA】 USDA は動物細胞由来の肉や家禽製品の表示について意見募集
食品安全情報（化学物質）No. 19/ 2021（2021. 09. 15）

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202119c.pdf>

2. キット製品表示ガイドライン

Kit Product Labeling Guideline

Sep 21, 2021

<https://www.fsis.usda.gov/policy/federal-register-rulemaking/federal-register-notices/kit-product-labeling-guideline>

2019 年 7 月に FSIS は査察されて組み合わせた肉や家禽を含む複数成分からなるキット製品を作る施設向けのガイドラインを公開し、意見募集を行った。今回、受け取ったコメントを反映してガイドラインを更新した。FSIS は本ガイドラインが、複数構成要素からなる食品キットを製造する施設やその他の食品取扱施設が、キット製品を FSIS の査察を受けて調製する必要があるかどうか、またラベル表示がすでにされている肉や家禽を構成要素として含むキット製品をどのように表示するかを判断する際、役立つことを目的としている。本ガイドラインは FSIS の最新の考え方を示すものであり、FSIS は受け取ったコメントや入手可能な追加情報を反映して、必要に応じて更新する予定である。

3. USDA は遺伝子組換えを用いて開発したトウモロコシを規制解除する

USDA Deregulates Corn Developed Using Genetic Engineering

Sep 22, 2021

https://www.aphis.usda.gov/aphis/newsroom/stakeholder-info/sa_by_date/sa-2021/sa-09/dereg-ge-corn

米国農務省動物衛生検査局（USDA APHIS）は、動物飼料としての栄養価を強化するためフィターゼを作る Agrivida 社の PY203 トウモロコシの規制を解除する。発効日は 2021

日 9 月 21 日。

4. 遺伝子組換えを用いて開発したリンゴの規制解除拡大

Extension of Deregulation to Apples Developed Using Genetic Engineering

Sep 22, 2021

https://www.aphis.usda.gov/aphis/newsroom/stakeholder-info/sa_by_date/sa-2021/sa-09/ge-apples

APHIS は、Okanagan スペシャルティフルーツ社が遺伝子組換えを利用して開発した褐変しないリンゴ PG451 Arctic Gala の規制を解除する。これまで、同社が開発した GD743 Arctic ゴールデンアップル と GS784 Arctic Granny リンゴの規制が解除されており、PG451 Arctic Gala リンゴにそれらのリンゴ種よりも高い植物害虫リスクはありそうもないと結論された。発効日は 2021 年 9 月 22 日。

● 米国連邦取引委員会 (FTC : Federal Trade Commission)

<http://www.ftc.gov/index.shtml>

1. FTC は科学的根拠のない糖尿病治療法の表示を行った疑いのある 10 社に停止要求書を送付

FTC Sends Cease and Desist Demands to 10 Companies Suspected of Making Diabetes Treatment Claims without the Required Scientific Evidence

September 9, 2021

<https://www.ftc.gov/news-events/press-releases/2021/09/ftc-sends-cease-desist-demands-10-companies-suspected-making>

米国連邦取引委員会 (FTC) は、証明されていない糖尿病の治療法や治癒法と思われるものを宣伝している疑いのある企業 10 社に対し、根拠のない表示をやめるよう停止命令書を送付した。

FTC の消費者保護局の局長代理である Samuel Levine 氏は、「インスリン価格が制御不能なために、アメリカ人は証明された治療法ではなく、疑わしい製品に頼るようになっていく。FTC と FDA は共同で、科学的な裏付けのない糖尿病治療薬と思われるものを販売している 10 社を非難する。」と述べた。今回の FTC の要求は、米国食品医薬品局 (FDA) の警告書と連名で出されたもので、該当企業は同じ 10 社である。

文書では、FTC は企業の広告の 1 つまたは複数の有効性の表示が、FTC 法で要求される有効で信頼できる科学的根拠によって立証されていないと懸念する。さらに FTC は、必要な科学的根拠なしに製品が糖尿病を予防、治療または治癒するという表示をしないよう要求しており、違反行為に対し法的措置をとる可能性があるとした。文書にはまた、疾患の治療、治癒、予防または緩和に関する詐欺的な表示を行った販売者は、1 回の違反につき最高

43,792 ドルの民事罰を受ける可能性があることも記載された。販売者はまた、FTC 法第 19 条(b)に基づき、詐欺的に販売された製品を購入した消費者から返金を求められる可能性もある。該当企業は 15 営業日以内に、FTC からの指摘に対する具体的な対応を通知しなければならない。

* 関連記事

【FDA】FDA、FTC は糖尿病を治療すると表示するダイエタリーサプリメントを違法に販売した 10 社に警告する

* 消費者向けブログ

FTC warns diabetes treatment sellers: cease and desist with questionable claims
September 9, 2021 by Bridget Small

[https://www.consumer.ftc.gov/blog/2021/09/ftc-warns-diabetes-treatment-sellers-
cease-and-desist-questionable-claims](https://www.consumer.ftc.gov/blog/2021/09/ftc-warns-diabetes-treatment-sellers-
cease-and-desist-questionable-claims)

* 事業者向けブログ

FTC to companies making questionable diabetes claims: Cease and desist now
September 9, 2021 By: Samuel Levine, Acting Director

[https://www.ftc.gov/news-events/blogs/business-blog/2021/09/ftc-companies-making-
questionable-diabetes-claims-cess](https://www.ftc.gov/news-events/blogs/business-blog/2021/09/ftc-companies-making-
questionable-diabetes-claims-cess)

-
- オーストラリア・ニュージーランド食品基準局
(FSANZ : Food Standards Australia New Zealand)
<http://www.foodstandards.gov.au/>

1. 食品基準通知

- Notification Circular 171-21
16 September 2021
<https://www.foodstandards.gov.au/code/changes/circulars/Pages/Notification%20Circular%20171-21.aspx>
 - ・ 意見募集
 - 遺伝子組み換えトウモロコシ系統 (MON95379) 由来食品の販売及び使用の承認を求め
るための意見募集。2021 年 11 月 1 日まで。
 - * 新しいタイプの遺伝子組換えトウモロコシ MON95379 に意見募集
- Call for comment on a new type of genetically modified corn MON95379
16 September 2021
[https://www.foodstandards.gov.au/media/Pages/Call-for-comment-on-a-new-
type-of-genetically-modified-corn-MON95379.aspx](https://www.foodstandards.gov.au/media/Pages/Call-for-comment-on-a-new-
type-of-genetically-modified-corn-MON95379.aspx)

- Notification Circular 172-21

27 September 2021

<https://www.foodstandards.gov.au/code/changes/circulars/Pages/Notification%20Circular%20172-21.aspx>

- ・ 意見募集
 - 乳児用調製乳 意見募集ペーパー3-規制枠組みと定義
- ・ 認可と閣僚会議通知
 - *Yarrowia lipolytica* 由来ステビオール配糖体
- ・ その他
 - 卵と卵製品の一次生産と加工基準見直しについての情報募集

- オーストラリア・ニューサウスウェールズ州食品局 (The NSW Food Authority)

<http://www.foodauthority.nsw.gov.au/>

1. リコール情報

- **Chef's Choice Premium Selected Chestnut Flour**

10 Sep 2021

<https://www.foodauthority.nsw.gov.au/news/recalls/chefs-choice-premium-selected-chestnut-flour>

中国産 Chef's Choice Premium Selected Chestnut Flour は表示違反（表示されない成分：Chinese buckeye nut（シナトチノキ）粉）のためリコール。製品写真有り。

- **Bad Shepherd Peanut Butter and Jam Barrel-Aged Porter**

23 Sep 2021

<https://www.foodauthority.nsw.gov.au/news/recalls/bad-shepherd-peanut-butter-and-jam-barrel-aged-porter>

オーストラリア産 Bad Shepherd ブランドの Peanut Butter and Jam Barrel-Aged Porter はアルコール濃度が表示アルコール値を超える可能性があり、また二次発酵により缶が破裂する可能性があるため、リコール。製品写真有り。

- **Appletiser 750ml**

22 Sep 2021

<https://www.foodauthority.nsw.gov.au/news/recalls/appletiser-750ml>

南アフリカ産 Appletiser 750ml は高濃度のパツリンのためリコール。製品写真有り。

● 香港政府ニュース

<http://www.news.gov.hk/en/index.shtml>

Centre for Food Safety of Food and Environmental Hygiene Department, The Government of the Hong Kong Special Administrative Region の承諾を得て掲載しています。

1. マカオ当局の報告 - カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) によるワシントン州保健省からの米国内での高レベルの麻痺性貝毒 (PSP) のため特定の貝類のリコールに関する通知

The authority of Macao reported that the California Department of Public Health (CDPH) – A notice regarding a recall of certain shellstock in the United States by Washington State Department of Health due to high levels of Paralytic Shellfish Poisoning (PSP) toxin.

Monday, September 13, 2021

https://www.cfs.gov.hk/english/rc/subject/files/20210913_2.pdf

マカオ当局は、カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) が、ワシントン州保健省が米国内での高濃度の麻痺性貝毒 (PSP) のため特定の貝類をリコールしたことについて通知を出したことを報告した。

2. ニュースレター

Food Safety Focus

15 Sep 2021

https://www.cfs.gov.hk/english/multimedia/multimedia_pub/multimedia_pub fsf.html

(一部抜粋)

- 食品中の部分水素添加油 (PHO) の禁止 - 香港人の心臓の健康を守るための重要なマイルストーン

Banning Partially Hydrogenated Oils (PHOs) in Foods – A Key Milestone in Protecting Hong Kong People's Heart Health

17 Sep 2021

https://www.cfs.gov.hk/english/multimedia/multimedia_pub/multimedia_pub fsf 182_0 2.html

— 食品安全センター、リスク評価部門科学官 Violette LIN 博士による報告 —

心臓病や脳卒中などの心血管疾患 (CVD) は、世界的に死因の上位を占める。2019 年に人命を奪った原因の第 3 位が心臓病だった香港も、例外ではない。毎年 9 月 29 日は世界心臓デーとされ、心血管疾患を予防、制御するためにできる行動を強調する。香港では、「工業的に生産されたトランス脂肪酸 (IP-TFA)」の問題の主な原因である「部分水素添加油 (PHO)」を食品に使用することを禁止する予定であり、これにより香港の人々は心血管疾

患からより保護される。ここでは、PHOを禁止するための基盤となる現地の取り組みをいくつか紹介する。

食品供給におけるIP-TFAとPHOの規制に関する世界的な方針

IP-TFAは、心臓の健康に最も有害な脂肪であり、血中の「悪玉」コレステロールを増やし、「善玉」コレステロールを追いやる。2018年、世界保健機関（WHO）はIP-TFAを食品に含まれる人工有害化合物と見なした。また、2023年までに世界の食品供給からIP-TFAを排除するための協力を呼びかけた。

同年、香港政府も心臓の健康を守るためのロードマップとして、「2025年に向けて：香港における非伝染性疾患の予防と制御のための戦略と行動計画」（SAP）を発表した。SAPには、飽和脂肪酸（SFA）を制限し、食品供給におけるPHOを排除するために、香港全体の政策を地域で採用することが明記された。この目標を達成するために、食品安全センター（CFS）は、WHOのREPLACE行動計画のうち、PHOを有害物質とみなしてIP-TFAを根源から排除するというベスト・プラクティスの政策を採用した。

PHOの禁止により、食の選択を損なうことなく心臓の健康を守る

2021年7月14日、立法院はPHOを含むあらゆる食品、油脂の輸入及び販売を禁止する「食品の有害物質（改正）規則2021」（改正規則）を可決し、2023年12月1日に発効する予定である。すでに多くの業者が、PHOを含まない原材料を調達し、PHOを含むものをWHOが推奨する健康的な油脂に置き換える行動をとっている。

食品安全センター（CFS）は、PHOを含まず、トランス脂肪酸（TFA）の含有量が少ない食品の生産を業者に促す努力を続ける

2007年以降、CFSは、トランス脂肪酸（TFA）に関連する健康リスクを一般の人々に伝えるための教育の取り組みを強化してきた。CFSは、さまざまな食品中のTFA含有量をモニターするために多くの研究を行った。その結果は、TFAの削減（2008年）及びIP-TFAの代替（2020年）に関する取引ガイドラインに、また教育及び広報記事にも反映された。

CFSは、立法措置の実施に加えて、食品中のTFA量を制限するためにWHOが推奨する他の措置を実施することで、多角的なアプローチを展開している。例えば、2010年7月に実施された栄養表示制度では、包装済み食品のTFA含有量を栄養ラベルに表示することを義務付けた。乳児に関しては、2015年12月に乳児用調製乳に含まれるTFA量を総脂肪の3%未満とする制限を施行した。

この改正規則により、香港人の心臓病の発症リスクの低減はさらに一步前進するだろう。政府、業界及び一般市民の協力により、PHOの健康への有害影響から香港人を守ることができる。

3. 違反情報

- 生鮮豚肉のサンプルから二酸化硫黄が検出された
Fresh pork sample found to contain sulphur dioxide
Monday, September 13, 2021

https://www.cfs.gov.hk/english/press/20210913_8873.html

食品環境衛生署の食品安全センター（CFS）は、本日、生鮮豚肉のサンプルから生鮮・チルド食肉への使用が認められていない保存料である二酸化硫黄が 48.4 ppm 検出されたと発表した。

- **食品安全センターはソウギョのサンプルにマラカイトグリーンを検出する**

CFS finds malachite green in grass carp sample

Wednesday, September 15, 2021

https://www.cfs.gov.hk/english/press/20210915_8884.html

食物環境衛生署の食品安全センターは、定期食品調査にてソウギョのサンプルに 0.7 ppb のマラカイトグリーンを検出したと発表した。

- **包装済み冷凍ロブスターのサンプルから基準値超過の保存料が検出され、食品表示規則に違反**

Prepackaged frozen lobster sample detected with excessive preservative and in breach of food labelling regulation

Monday, September 13, 2021

https://www.cfs.gov.hk/english/press/20210913_8877.html

食品環境衛生署の食品安全センターは、本日、ブラジル産の包装済み冷凍ロブスターのサンプルから保存料である二酸化硫黄が基準値 100 ppm を超える 704 ppm 検出され、また、食品表示に添加物の機能分類と名称がなかったと発表した。

- **包装済み衣笠茸のサンプルが食品表示規則に違反**

Prepackaged bamboo fungi sample in breach of food labelling regulation

2021-9-14

https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew_fa/2021_442.html

食品安全センター（CFS）は、オンラインショップの中国産の衣笠茸のサンプルから二酸化硫黄を検出した。二酸化硫黄の濃度は、最大基準値以下であったが、サンプルの食品ラベルには、添加物の機能分類と名称の記載がなかった。

- **韓国食品医薬品安全処（MFDS : Ministry of Food and Drug Safety）**

<http://www.mfds.go.kr/index.do>

1. **日本産輸入食品の放射能検査の結果**

輸入検査管理課

・ 2021.9.3～2021.9.9

https://www.mfds.go.kr/brd/m_100/view.do?seq=43223

2. 食品由来の抗菌剤耐性低減化のための国際協力強化

畜産物安全政策課 2021-09-06

https://www.mfds.go.kr/brd/m_99/view.do?seq=45727

食品医薬品安全処は、食品由来の抗菌剤耐性に対する対応協力強化のために9月6日～8日まで「第1回食品由来抗菌剤耐性国際会議（GCFA）」をオンライン**で開催する。

* GCFA : Global Conference on Foodborne Antimicrobial Resistance

今回の国際会議では、韓国がコーデックス抗菌剤耐性特別部会の議長国として初めて開催するイベントで、諸外国における食品由来のAMR管理に対する政策事例を共有して、抗菌剤耐性特別部会で策定する国際規範の履行の必要性、国際協調の重要性などを議論する。

3. ケトジェニックダイエット、正確に知って購入してください！

サイバー調査団 2021-09-02

https://www.mfds.go.kr/brd/m_99/view.do?seq=45716

食品医薬品安全処は、一般食品などを「ケトジェニックダイエット（Ketogenic diet、ケトン食）*」と広告を出したオンライン商品の不当広告を集中点検した結果、「食品などの表示・広告に関する法律」違反事例 360 件を摘発し、掲載品の削除と行政処分などを要請した。

* ケトジェニックダイエット（Ketogenic diet、ケトン食）とは？ 医薬品による治療ができない小児てんかんなどの神経系疾患の治療に用いられる「極端に炭水化物を低減した食事療法」。

今回の点検は、COVID-19 で活動量が減り体重が増加*することによりダイエット食品に対する関心が高まり、「ケトジェニック（ketogenic diet）」という用語を一般食品などに無分別に使用する不当広告が増加したため、消費者被害を予防するために実施した。

* 全国満20歳以上の成人男女1000人対象「COVID-19と国民体重および肥満認識度調査」結果、COVID-19以後10人中4人（46%）の体重が3kg増加（'21.5月）

点検対象は即席食品類（弁当など）、パン類、食用油脂類など「ケトジェニック」と表示・広告をしたオープンマーケットと一般ショッピングモールの商品364件で、6月から8月まで3段階で不当広告などの不法行為を集中点検して360件を摘発した。

*（点検期間）①企画監視（6月）→②民間広告検証団諮問（6月末～7月）→③総合分析（8月）

主な違反内容は、▲消費者欺瞞227件（63.0%）、▲健康機能食品誤認・混同95件（26.4%）、▲病気予防・治療効果広告37件（10.3%）、▲偽・誇張1件（0.3%）であり、詳細違反内容は次の通り。

➤ 消費者欺瞞：▲「ケトジェニック食事療法」、「ケトジェニック弁当」などのように食品

学・栄養学などの分野で公認されていない製造方法を明示した不当広告、▲「低炭水化物」、「純炭」など定義と種類（範囲）が明確でなく、客観的・科学的根拠が不十分な用語を使用して、他の製品よりも優れた製品であるかのように消費者を誤認・混同させる不当広告

- 健康機能食品誤認・混同：一般食品に「ダイエット」、「体重減少」などと広告を出して、健康機能食品として認識するようにさせる不当広告
- 病気予防・治療効果：「糖尿病食」、「がん予防」など、病気予防・治療に効果があると認識する恐れがある不当広告
- 偽・誇張：「デトックス」など身体組織の機能・作用・効果・効能について表現する不当広告

● シンガポール保健科学庁（HSA : Health Science Authority）

<https://www.hsa.gov.sg/>

1. 食品（改正）規則 2021

FOOD (AMENDMENT) REGULATIONS 2021

14 September 2021

[https://www.sfa.gov.sg/docs/default-source/default-document-library/circular-on-food-\(amendment\)-regulations-2021-\(14sep2021\).pdf](https://www.sfa.gov.sg/docs/default-source/default-document-library/circular-on-food-(amendment)-regulations-2021-(14sep2021).pdf)

食品（改正）規則 2021 が 2021 年 10 月 1 日に施行される。今回の改正は、新規食品添加物及び成分の使用の認可、既存の食品添加物の使用の拡大、食品中の重金属の最大基準値の改定が主である。

● インド食品安全基準局（FSSAI : Food Safety & Standards Authority of India）

<http://www.fssai.gov.in>

1. FSSAI はジャンクフードを規制するために「包装表面表示」を導入する計画

FSSAI plans to introduce 'front of package label' to regulate junk foods

Sep 20, 2021

https://www.fssai.gov.in/upload/media/FSSAI_News_Junk_Food_Tribune_21_09_2021.pdf

包装済み食品の需要が増え、ジャンクフードによる若者や子供の肥満が懸念されることから、消費者がより健康的な食品を選べるように、わかりやすい表示が望まれている。FSSAI

CEO である Arun Singhal 氏は、包装済み食品に FoP (front of package : 包装表面) への表示を導入する計画があると述べた。どのような表示になるかはまだ決まっていない。

2. 統一保健大臣 Shri Mansukh Mandaviya が第 3 回州食品安全指数を発表

Union Health Minister Shri Mansukh Mandaviya releases 3rd State Food Safety Index
New Delhi, 20th September, 2021

https://www.fssai.gov.in/upload/uploadfiles/files/Press_Release_SFISI_20_09_2021.pdf

食品安全に関する 5 つのパラメーターで各州の成績を測定した第 3 回州食品安全指数を発表した。2020-2021 年のランキングから 9 つの優秀な州を表彰した。また、全国の食品安全エコシステムを補完するため、19 台の移動式食品検査車 (Food Safety on Wheels) の旗揚げを行った。

* 報告書

Report on State Food Safety Index 2020-21

https://www.fssai.gov.in/upload/uploadfiles/files/Report_SFISI_20_09_2021.pdf

5 つのパラメーターは次の通り。

- a) 人材と組織データ
- b) コンプライアンス (最も重要な指標)
- c) 食品検査—インフラとサーベイランス
- d) 訓練と能力構築
- e) 消費者エンパワメント

3. 異なる食品カテゴリー中のトランス脂肪についての全インド調査の結果について

Press Release dated 20th September 2021 related to PAN-India Survey Results on Trans-fat in different Food categories released by FSSAI [Updated on:21-09-2021]

https://www.fssai.gov.in/upload/press_release/2021/09/6149d70fca843Press_Release_Survey_TransFat_21_09_2021.pdf

FSSAI は、WHO のガイドラインより 1 年早く、2022 年までに工業的に生産されたトランス脂肪酸の制限値を引き下げ、2%以下にすることを義務付けた。

様々な包装済み食品を 6 つのカテゴリーについて各 1000 程度、合計 6245 検体をランダムに集め、トランス脂肪酸異性体 (エライジン酸とリノエライジン酸) 含量を測定し、脂肪含量あたりの割合を計算した。

2%を超えたのは 3.14% (196 検体) のみで、その 90%がカテゴリー6 (油、バナस्पチ、ショートニング、マーガリン) の製品であった。残り 5 つのカテゴリーの 5176 検体では、0.4% (20 検体) でトランス脂肪酸含量が 2%以上だった。

調査の結果、食品加工業界は、2022 年までに工業的に生産されたトランス脂肪酸を食品から排除するという FSSAI の規制に前向きであることが明らかになった。

● その他

ProMED-mail

● 大麻中毒－アイルランド：子ども、大麻入りキャンディ

Cannabis poisoning - Ireland: children, cannabis-infused candy

2021-09-21

<https://promedmail.org/promed-post/?id=8692639>

Date: Tue 21 Sep 2021 Source: TheJournal.ie [edited]

今年初めの 8 週間にダブリンの病院で 6 人の小さい子どもが事故で大麻中毒になり、医師が食べられる大麻による子どもたちへの公衆衛生上の脅威が増加していることを警告。

新しい研究（以下に記載）では 10 才未満の子どもの事故による大麻製品使用に関連する急性脳症や呼吸抑制、低血圧が増加している。*Irish Medical Journal* に発表された研究では 6 人の子どもの症例を記述している。

* Edible Cannabis Toxicity in Young Children: An Emergent Serious Public Health Threat.

Mattimoe C, Conlon E, Ni Siochain D, et al.

Ir Med J. 2021; 114(8): P446

<http://imj.ie/edible-cannabis-toxicity-in-young-children-an-emergent-serious-public-health-threat/>.

● Haff 病－ブラジル：(第 3 報) (バイア) 魚摂取疑い

Haff disease - Brazil: (03) (BA) fish consumption susp

2021-09-20

<https://promedmail.org/promed-post/?id=8689848>

Date: Sun 19 Sep 2021 Source: Play Crazy Game [abridged, edited]

バイアで新たに 3 例の Haff 病が確認された。州保健部によると、報告された症例は 21 例、退院 3 例、他 2 例が調査中である。新たな患者の詳細は不明。

*参考：食品安全情報（化学物質）No. 19/ 2021（2021. 09. 15）

【その他】Haff 病-ブラジル（第 2 報）：(アマゾナス、バイア) 疑い、魚摂取

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202119c.pdf>

Eurekalert

● クロマグロは世界の海の水銀汚染パターンを明らかにする

Bluefin tuna reveal global ocean patterns of mercury pollution

13-SEP-2021

<https://www.eurekalert.org/news-releases/928044>

*PNAS*に発表された。1998年から2019年の筋組織中の水銀分析研究の徹底的レビューにより、クロマグロの水銀蓄積率は地中海域で最も高く、北太平洋、インド洋、北大西洋で下がることを発見した。

- リトアニアの科学者が開発した新しい肉代用品ーより健康的、より風味豊かで環境に優しい

New meat analogue developed by Lithuanian scientists – healthier, more flavours and environmentally friendly

16-SEP-2021

<https://www.eurekalert.org/news-releases/928636>

*European Food Research and Technology*に発表された、カウナス工科大学による、発酵おから(okara; 豆乳副産物)を使った肉代用品に関する報告。発酵には *L. plantarum* P1株と *L. acidophilus* 308株を使用している。

以上

食品化学物質情報

連絡先：安全情報部第三室